### (19) 世界知的所有権機関 国際事務局



# 

(43) 国際公開日 2000 年12 月21 日 (21.12.2000)

**PCT** 

(10) 国際公開番号 WO 00/77219 A1

(51) 国際特許分類7:

C12Q 1/68, 1/70, G01N 33/569, 33/50

C12N 15/48,

(21) 国際出願番号:

PCT/JP00/03896

(22) 国際出願日:

2000年6月15日(15.06.2000)

(25) 国際出願の言語:

日本語

(26) 国際公開の言語:

日本語

(30) 優先権データ:

特願平11/167736

1999年6月15日(15.06.1999) JP

特願2000/23581

-??---

2000年2月1日 (01.02.2000) JP

(71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 大塚 製薬株式会社 (OTSUKA PHARMACEUTICAL CO., LTD.) [JP/JP]; 〒101-8535 東京都千代田区神田司町 2丁目9番地 Tokyo (JP). 学校法人 慶應義塾 (KEIO UNIVERSITY) [JP/JP]; 〒153-0062 東京都港区三田2 丁目15番45号 Tokyo (JP).

(72) 発明者; および

(75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 加藤真吾 (KATO, Shingo) [JP/JP]; 〒177-0031 東京都練馬区 三原台1-33-13 Tokyo (JP). 小林芳夫 (KOBAYASHI, Yoshio) [JP/JP]; 〒157-0066 東京都世田谷区成城 4-3-21 ローゼンハイム102 Tokyo (JP). 平石佳之 (HIRAISHI, Yoshiyuki) [JP/JP]; 〒203-0054 東京都東久留米市中央町1-15-22 Tokyo (JP). 清水香代子 (SHIMIZU, Kayoko) [JP/JP]; 〒224-0037 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南4-15-1-807 Kanagawa (JP). 杉田

[続葉有]

(54) Title: METHOD FOR DETERMINING HIV-1 SUBTYPE

(54) 発明の名称: HIV-1のサブタイプ決定法

TGTALLECCTCAGCCRLTACACAGGCLTGLCCAAAggTALCCTTTGAGCCAATTCCCATA ----T-G4--T-------------acAGGgccatGcaagAATGTcAGcaCaGTaCAATGCACacATGGaATcAagCCAGtagTa ----a----t-ca----C サブタイプ C d サブタイプ D e サブタイプ E f サブタイプ F a サブタイプ A b サブタイプ B c サブタイプ C d サブタイプ D e サブタイプ E f サブタイプ F f サブタイプ F h サブタイプ H tCAACtCAaCTgcfGtTaAATGGcAGtcfAGCAgaAgaa???gaggTAatgaTtagaTCf glasstsToschalchlTgccssshccsThaTaGTschgcTtg??aagcctGTha?ahTt る サブタイプ A a デフタイプA b ナプタイプB c サプタイプC d ナプタイプD e ナプタイプB f ナプタイプF GALARTA COLONIA CALIFORNIA CALIFO AALTGI gtg--a...SUBTYPE A e...SUBTYPE E b...SUBTYPE B f...SUBTYPE F

C...SUBTYPE C

d...SUBTYPE D

q...SUBTYPE G

h...SUBTYPE H

(57) Abstract: A method for determining a subtype of HIV-1 characterized by comprising effecting a nucleic acid amplification reaction acid by using, as a target sequence, a part of the nucleotide sequence of HIV-1 env gene, wherein at least one of the 5'-terminal and 3'-terminal nucleotide sequences differs from subtype to subtype of HIV-1, and detecting the subtype depending on the occurrence of the nucleic acid amplification; and a kit for determining a subtype of HIV-1 containing a pair of primers the target sequence of which is a part of the nucleotide sequence of HIV-1 env gene wherein at least one of the 5'-terminal and 3'-terminal nucleotide sequences differs from subtype to subtype of HIV-1.

[続葉有]

哲佳 (SUGITA, Tetsuyoshi) [JP/JP]; 〒164-0012 東京都中野区本町2-28-7-303 Tokyo (JP).

e i suati

- (74) 代理人: 三枝英二、外(SAEGUSA, Eiji et al.); 〒541-0045 大阪府大阪市中央区道修町1-7-1 北浜TNKビル Osaka (JP).
- (81) 指定国 (国内): CA, US.

(84) 指定国 (広域): ヨーロッパ特許 (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE).

#### 添付公開書類:

#### — 国際調査報告書

- 請求の範囲の補正の期限前の公開であり、補正書受 領 の際には再公開される。

2文字コード及び他の略語については、 定期発行される 各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語 のガイダンスノート」を参照。

#### (57) 要約:

本発明は、HIV-1の env 遺伝子のヌクレオチド配列の一部であって、5' 末端部および 3' 末端部のうちの少なくとも片方のヌクレオチド配列がHIV-1のサブタイプにより異なる一部を標的配列として核酸の増幅反応を行い、核酸の増幅の有無によりサブタイプの検出を行うことを特徴とする、HIV-1のサブタイプを決定する方法に関する。また、本発明はHIV-1の env 遺伝子のヌクレオチド配列の一部であって、5' 末端部および 3' 末端部のうちの少なくとも片方のヌクレオチド配列がサブタイプにより異なる一部を標的配列とするプライマー対を含む、HIV-1のサブタイプを決定するためのキットに関する。

### 明細書

## HIV-1のサブタイプ決定法

### 技術分野

本発明は、HIV-1のサブタイプ決定法およびHIV-1のサブタイプを決定するためのキットに関する。

### 背景技術

ヒト免疫不全ウイルス(以下、「HIV」と記す。)は、後天性免疫不全症候群(以下、「AIDS」と記す。)の原因ウイルスで、1型(HIV-1)と2型(HIV-2)が知られている。このうち、症例が多く、種々のサブタイプが見つかっているのは、HIV-1である。

感染個体内のHIV-1のサブタイプを決定することは、ウイルス学的検査結果(特に血漿HIV-1RNA濃度や遺伝型による薬剤耐性)の信頼性や、感染経路を推測するために重要である。一般にHIV-1のサブタイプ決定はウイルスゲノムの特定領域をシークエンシングし、その結果を系統樹解析することによって判定されているが、これらの操作は煩雑で費用もかかることが問題となっていた。

従って、本発明は、より簡便なHIV-1のサブタイプ決定法を提供することを目的とする。

また、本発明は、HIV-1のサブタイプを決定するためのキットを提供することも目的とする.

## 図面の簡単な説明

図1は、HIV-1の種々のサブタイプの env 遺伝子の V3 領域の5 隣接領域 (C2 領域) のヌクレオチド配列を示す。大文字は同じサブタイプ内でヌクレオチドが完全に共通であることを、小文字は同じサブタイプ内でヌクレオチドが異なる変異体が存在することを示す。? は変異が多すぎてコンセンサスのヌクレオチドが決められないことを示す。 - はサブタイプ A と同じヌクレオチドを示す。 . は相当する部位にヌクレオチドが存在しないことを示す。

図2は、HIV-1の種々のサブタイプの env 遺伝子の V3 領域の

3' 隣接領域(C3 領域)のヌクレオチド配列を示す。大文字は同じサブタイプ内でヌクレオチドが完全に共通であることを、小文字は同じサブタイプ内でヌクレオチドが異なる変異体が存在することを示す。? は変異が多すぎてコンセンサスのヌクレオチドが決められないことを示す。 - はサブタイプ A と同じヌクレオチドを示す。 . は相当する部位にヌクレオチドが存在しないことを示す。

図3は、HIV-1のサブタイプを決定するための nested PCR (第一PCRも第二PCRもプライマーが異なる) で用いたプライマーの位置、組み合わせおよび塩基配列を示す。

図4は、ウイルスゲノムのシーケンシングによってサブタイプが決定されている検体について、図3に示したプライマーを用いた nested PCR によりサブタイプの検出を行った結果を示す。

⊠ 5 : Location of primers in HIV-1 subtype-specific nested PCT.

図5は、HIV-1のサブタイプを決定するための nested PCR (第一PCRのプライマーは共通で第二のPCRのプライマーが異なる)で用いたプライマーの位置、組み合わせおよび塩基配列を示す。 9 M はプライマー9AE および 9B の混合物、11M はプライマー11LAE、11LB および 11LC の混合物、12M はプライマー12A と 12B の混合物を示す。

図 6 : Subtype-specific PCR of HIV-1 DNA.

図6は、図5に示したプライマーを用いた nested PCR によりサブタイプの検出を行った結果を示す。

図7: Phylogenetic analysis of HIV-1 variants.

図7は、シーケンシングによって得られた、env遺伝子 V3 領域の塩基配列をもとにHIV-1変異体の系統樹解析を行い、サブタイプを決定した結果を示す。

図8:Amino acid sequence in PR of non-subtype B HIV-1 in patients receiving HAART.

図8は、HAART療法を受けている非サブタイプB HIV-1感染患者におけるプロテアーゼ阻害剤耐性に関係するアミノ酸配列を示す。

図9は、各種のサブタイプとHIV-1感染患者の性行動の関係を示す表である。

⊠ 1 O : RT-PCR of RNA from PA<sup>+</sup> but WB<sup>-</sup> plasma with universal primers

図10は、粒子吸着法により陽性  $(PA^+)$  と診断され、ウェスタンブロット法により陰性  $(WB^-)$  と診断された被験者からの血清検体について、サブタイプに関係なくHIV-1 を増幅できるプライマー対を用いた RT-PCR を行った結果を示す。N1 と N2 は陰性対照、P1 と P2 は陽性対照を示す。

### 発明の開示

本発明者らは、各サブタイプに特異的なプライマーを設計し、これを用いてサンプル中の核酸の増幅反応を行うことによって、HIV-1のサブタイプを迅速に決定することに成功し、本発明を完成させるに至った。

すなわち、本発明は、HIV-1の env 遺伝子のヌクレオチド配列の一部であって、5'末端部および 3'末端部のうちの少なくとも片方のヌクレオチド配列がHIV-1のサブタイプにより異なる一部を標的配列として核酸の増幅反応を行い、核酸の増幅の有無によりサブタイプを決定する方法を提供する。標的配列は  $100\sim2500$  塩基対の長さであるとよく、好ましくは  $150\sim500$  塩基対の長さである。上記の方法において、標的配列の 3'末端および/または 5'末端から 1 番目 $\sim3$  0 番目の塩基までの配列がサブタイプによって異なるとよい。例えば、標的配列の 3'末端はHIV-1の env 遺伝子の C3 領域にあってもよい。また、標的配列の 5'末端がHIV-1の env 遺伝子の C2 領域にあってもよい。異なるプライマー対を用いて異なる増幅反応を行って、異なるサブタイプを検出することができる。例えば、HIV-1の env 遺伝子の C3 領域の一部のサブタイプによって異なるヌクレオチド配列 (  $\mathbf{x}$   $\mathbf{y}$   $\mathbf{y}$ 

IV-1の env 遺伝子の C2 領域の一部のヌクレオチド配列(ヌクレオチド配列 2) に相補的な配列を含むプライマー (プライマー 2) とからなるプライマー対を用いる増幅反応を少なくとも 2回プライマー対を変えて行い、少なくとも 2 つのサブタイプを検出することができる。

また、第一のプライマー対を用いて、HIV-1の env 遺伝子のヌ クレオチド配列の一部を標的配列とする第一の増幅反応を行った後、 第二のプライマー対を用いて、前記標的配列の一部であって、5'末端 部および 3'末端部のうちの少なくとも片方のヌクレオチド配列がサ ブタイプにより異なる一部を標的配列とする第二の増幅反応を行い、 第二の増幅反応による核酸の増幅の有無によりサブタイプの検出を行 ってもよい。例えば、第二のプライマー対が、HIV-1の env 遺伝 子の C3 領域の一部のサブタイプによって異なるヌクレオチド配列(ヌ クレオチド配列1)に相補的な配列を含むプライマー(プライマー1) とHIV-1の env 遺伝子の C2 領域の一部のヌクレオチド配列 (ヌ クレオチド配列2)に相補的な配列を含むプライマー(プライマー2) とからなり、第一のプライマー対が、HIV-1の env 遺伝子のヌク レオチド配列1の3'末端の下流の領域の一部のヌクレオチド配列(ヌ クレオチド配列3)に相補的な配列を含むプライマー(プライマー3) とHIV-1のenv遺伝子のヌクレオチド配列2の5'末端の上流の領 域の一部のヌクレオチド配列(ヌクレオチド配列4)に相補的な配列 を含むプライマー(プライマー4)とからなってもよい。

第一のプライマー対を用いてHIV-1の env 遺伝子のヌクレオチド配列の一部を標的配列とする第一の増幅反応を行った後、第二のプライマー対を用いて前記標的配列の内部のヌクレオチド配列を標的配列とする第二の増幅反応を行い、第二の増幅反応による核酸の増幅の有無によりサブタイプの検出を行う一連の操作を第二のプライマー対を変えて少なくとも1回繰り返すことにより、少なくとも2つのサブタイプの鑑別を行うことができる。例えば、(a) 第一のプライマー対として、GCAATAGAAAAATTCTCCTC (配列番号5) のヌクレオチド配列

を含むプライマー12A、ACAGTAGAAAAATTCCCCTC (配列番号 6) のヌクレオチド配列を含むプライマー12B、CACAGTACAATGCACACATG(配列番号 8) のヌクレオチド配列を含むプライマー9AE および CACAGTACAATGTACACATG (配列番号 9) のヌクレオチド配列を含むプライマー9B の混合物を用い、第二のプライマー対として、CTCCTGAGGAGTTAGCAAAG (配列番号 27) のヌクレオチド配列を含むプライマー11QA1 および CTGTTAAATGGCAGTCTAGC (配列番号 20) のヌクレオチド配列を含むプライマー11QA1 および CTGTTAAATGGCAGTCTAGC (配列番号 20) のヌクレオチド配列を含むプライマー10Uを用いサブタイプAの検出を行い、

- (b) 第一のプライマーとして、GCAATAGAAAAATTCTCCTC(配列番号 5)のヌクレオチド配列を含むプライマー12A、ACAGTAGAAAAATTCCCCTC(配列番号 6)のヌクレオチド配列を含むプライマー12B、CACAGTACAATGCACACATG(配列番号 8)のヌクレオチド配列を含むプライマー9AE および CACAGTACAATGTACACATG(配列番号 9)のヌクレオチド配列を含むプライマー9Bの混合物を用い、第二のプライマー対として、CACAATTAAAACTGTGCATTAC(配列番号 2 8)のヌクレオチド配列を含むプライマー11VB および CTGTTAAATGGCAGTCTAGC(配列番号 2 0)のヌクレオチド配列を含むプライマー11VB および CTGTTAAATGGCAGTCTAGC(配列番号 2 0)のヌクレオチド配列を含むプライマー10U を用いてサブタイプBの検出を行い、
- (c) 第一のプライマーとして、GCAATAGAAAAATTCTCCTC(配列番号 5) の ヌクレオチド配列を含むプライマー 12A、ACAGTAGAAAAATTCCCCTC(配列番号 6) のヌクレオチド配列を含むプライマー12B、CACAGTACAATGCACACATG(配列番号 8) のヌクレオチド配列を含むプライマー9AE および CACAGTACAATGTACACATG(配列番号 9) のヌクレオチド配列を含むプライマー9Bの混合物を用い、第二のプライマー対として、TTGTTTTATTAGGGAAGTGTTC(配列番号 29)のヌクレオチド配列を含むプライマー11XC および CTGTTAAATGGTAGTCTAGC(配列番号 24) のヌクレオチド配列を含むプライマー10U を用いサブタイプ Cの検出を行い、
  - (d) 第一のプライマーとして、GCAATAGAAAATTCTCCTC (配列番

Sugar Section

号 5 )の ヌク レオチド配 列を含む プライマー 12A、ACAGTAGAAAAATTCCCCTC (配列番号 6)のヌクレオチド配列を含むプライマー 12B、CACAGTACAATGCACACATG (配列番号 8)のヌクレオチド配列を含むプライマー 9AE および CACAGTACAATGTACACATG (配列番号 9)のヌクレオチド配列を含むプライマー 9B の混合物を用い、第二のプライマー対として、CTCTACAATTAAAATGATGCATTG (配列番号 3 0)のヌクレオチド配列を含むプライマー 11WE および CTGTTAAATGGCAGTCTAGC (配列番号 2 0)のヌクレオチド配列を含むプライマー 11WE および CTGTTAAATGGCAGTCTAGC (配列番号 2 0)のヌクレオチド配列を含むプライマー 10U を用いてサブタイプCの検出を行うことにより、

サブタイプA、B、CおよびEの鑑別を行うことができる。

あるいはまた、第一のプライマー対を用いてHIV-1の env 遺伝子のヌクレオチド配列の一部を標的配列とする第一の増幅反応を行った後、第二のプライマー対を用いて前記標的配列の内部のヌクレオチド配列を標的配列とする第二の増幅反応を行い、第二の増幅反応による核酸の増幅の有無によりサブタイプの検出を行う一連の操作を第一のプライマー対および第二のプライマー対を変えて少なくとも1回繰り返すことにより、少なくとも2つのサブタイプの鑑別を行ってもよい。例えば、(a) 第一のプライマー対として、GCAATAGAAAAATTCTCCTC(配列番号5)のヌクレオチド配列を含むプライマー12A およびCACAGTACAATGCACACATG(配列番号8)のヌクレオチド配列を含むプライマー9AE を用い、第二のプライマー対として、CTCCTGAGGGGTTAGCAAAG(配列番号1)のヌクレオチド配列を含むプライマー11QA およびAAATGGCAGTCTAGCAGAG(配列番号4)のヌクレオチド配列を含むプライマー117人の検出を行い、

(b) 第一のプライマー対として、ACAGTAGAAAAATTCCCCTC (配列番号 6) の ヌ ク レ オ チ ド 配 列 を 含 む プ ラ イ マ ー 12B お よ び CACAGTACAATGTACACATG (配列番号 9) のヌクレオチド配列を含むプライマー9B を用い、第二のプライマー対として、CTGTGCATTACAATTTCTGG (配列番号 2) のヌクレオチド配列を含むプライマー11BB および

AAATGGCAGTCTAGCAGAAG(配列番号4)のヌクレオチド配列を含むプライマー10を用いてサブタイプBの検出を行い、また、

(c) 第一のプライマー対として、GCAATAGAAAAATTCCCCTC (配列番号 7) の ヌ ク レ オ チ ド 配 列 を 含 む プ ラ イ マ ー 12E お よ び CACAGTACAATGCACACATG (配列番号 8) のヌクレオチド配列を含むプライマー9AE を用い、第二のプライマー対として、CTCCTGAGGGTGGTTGAAAG (配列番号 3) のヌクレオチド配列を含むプライマー11QE および AAATGGCAGTCTAGCAGAAG (配列番号 4) のヌクレオチド配列を含むプライマー10 を用いてサブタイプEの検出を行うことにより、サブタイプ A、BおよびEの鑑別を行うことができる。

本発明の方法は、さらに、HIV-1のゲノムのヌクレオチド配列 の一部であって、ヌクレオチド配列がすべてのサブタイプの間で高度 に保存されている一部を標的配列とする核酸の増幅反応を行い、核酸 の増幅の有無によりHIV-1の存在または不存在を確認する工程を 含んでもよい。HIV-1の存在または不存在を確認する工程は、第 一のプライマー対を用いて、HIV-1のゲノムのヌクレオチド配列 の一部であって、ヌクレオチド配列がすべてのサブタイプの間で高度 に保存されている一部を標的配列とする核酸の増幅反応を行った後、 第二のプライマー対を用いて、前記標的配列の内部のヌクレオチド配 列を標的配列とする第二の増幅反応を行い、核酸の増幅の有無により HIV-1の存在または不存在を確認することからなるとよい。ここ で、第一のプライマーとして、第一のプライマーとして、 GCAATAGAAAAATTCTCCTC(配列番号5)のヌクレオチド配列を含むプラ イマー12A、ACAGTAGAAAAATTCCCCTC(配列番号6)のヌクレオチド配列 を含むプライマー12B、CACAGTACAATGCACACATG(配列番号8)のヌクレ オチド配列を含むプライマー9AE および CACAGTACAATGTACACATG (配列 番号9)のヌクレオチド配列を含むプライマー9Bの混合物を用い、第 二のプライマーとして、AATTTCTGGGTCCCCTCCTG(配列番号18)のヌ クレオチド配列を含むプライマー11LB、AATTTCTAGATCCCCTCCTG(配列

番号25)のヌクレオチド配列を含むプライマー11LAE、AATTTCTAGGTCCCCTCCTG(配列番号26)のヌクレオチド配列を含むプライマー11LCおよびCTGTTAAATGGCAGTCTAGC(配列番号20)のヌクレオチド配列を含むプライマー10Uの混合物を用いることができる。

また、本発明は、HIV-1の env 遺伝子のヌクレオチド配列の一部であって、5'末端部および 3'末端部のうちの少なくとも片方のヌクレオチド配列がサブタイプにより異なる一部を標的配列とするプライマー対を含む、HIV-1のサブタイプを決定するためのキットを提供する。

以下、本発明の実施態様を詳細に説明する。

HIV-1感染が疑われている人、HIV-1感染が確認されている感染者もしくは患者、または抗HIV-1治療を受けている患者などの被験者から、血液、リンパ液、髄液、精液、リンパ節などのサンプルを採取する。採取したサンプルから、Pharmacia社のFicoll-Paque密度勾配遠心を用いて単核球を分離した後か、あるいは直接QIAGEN社のQIAampBloodKitを用いてDNAを抽出する。あるいは、血漿からは、QIAGEN社のQIAampViral RNA Kitを用いてRNAを抽出する。次いで、このDNAまたはRNAの濃度を260nmにおける吸光度から決定する。

次に、この核酸をPCR、好ましくは、nested PCRにかける。

ここでは、nested PCR を利用する場合について説明する。nested PCR とは、一組のプライマー対(第一のプライマー対)で増幅される標的配列の内側に第二のプライマー対を設計し、一回目のPCRを行った後、その反応生成物を希釈して新たな鋳型として二回目のPCRを行うものである。一回目のPCRでは標的配列の他に、望まれない配列も増幅されることがある。しかし、一回目のPCRで増幅された望まれない断片中に第二のプライマー対の各プライマーがアニールする配列が存在する確率は極めて低い。従って、このような2回のPCRを行うことにより、標的配列だけが選択的に増幅されるのである。

まず、鑑別すべきサブタイプ(例えば、サブタイプA、サブタイプB、サブタイプE)にそれぞれ特異的なプライマー対を用いて一回目のPCR(第一のPCR)を行う。あるいは、サブタイプに特異的なプライマー対の代わりに、どのサブタイプでも増幅することができる共通なプライマー対を用いてもよい。

サブタイプ特異的なプライマー対としては、例えば、HIV-10 env 遺伝子の C2 領域の一部のヌクレオチド配列に相補的な配列を含むプライマー (プライマー4') とHIV-10 env 遺伝子の C3 領域の一部のサブタイプによって異なる (すなわち、サブタイプ特異的である) ヌクレオチド配列に相補的な配列を含むプライマー (プライマー3') とからなるプライマー対を挙げることができる。HIV-10 env 遺伝子の C2 領域は図 1 のようにサブタイプによりヌクレオチド配列が異なるので、この領域からヌクレオチド配列を選択して、プライマー4'を設計するとよい。また、HIV-10 env 遺伝子の C3 領域は図 2 のようにサブタイプによる違いがあるので、この領域からヌクレオチド配列を選択して、プライマー 3'を設計するとよい。一般に、プライマーの長さは、 $18\sim30$  塩基対であるとよく、好ましくは  $20\sim25$  塩基対である。具体的には、以下のプライマー対を用いることができる。

サブタイプAの検出のための第一のPCR用プライマー対とそのヌクレオチド配列

- 9AE/12A

プライマー9AE:CACAGTACAATGCACACATG(配列番号8)

プライマー12A:GCAATAGAAAAATTCTCCTC. (配列番号 5).

プライマー9AE は、HIV-1 (NL4-3 株)の全塩基配列の 5'末端 (左端)から数えて、6943-6962 番目の配列に相補的な配列であり、サブタイプA、E、FおよびHに特異的なプライマーである。

プライマー12A は、HIV-1(NL4-3 株)の全塩基配列の 5'末端 (左端)から数えて、7369-7350 番目の配列に相補的な配列であり、サブタイ

プA、C、E、G、H、IおよびJに特異的なプライマーである。 サブタイプBの検出のための第一のPCR用プライマー対とそのヌクレオチド配列

· 9B/12B

プライマー9B: CACAGTACAATGTACACATG (配列番号9)

プライマー12B: ACAGTAGAAAAATTCCCCTC (配列番号 6)

プライマー9B は、HIV-1 (NL4-3 株)の全塩基配列の 5'末端 (左端)から数えて、6943-6962 番目の配列に相補的な配列であり、サブタイプB、C、D、E、F、G、HおよびJに特異的なプライマーである。プライマー12B は、HIV-1 (NL4-3 株)の全塩基配列の 5'末端 (左端)から数えて、7369-7350 番目の配列に相補的な配列であり、サブタイプB、D、E、FおよびIに特異的なプライマーである。

サブタイプEの検出のための第一のPCR用プライマー対とそのヌクレオチド配列

• 9AE/12E

プライマー9AE: CACAGTACAATGCACACATG (配列番号8)

プライマー12E: GCAATAGAAAAATTCCCCTC (配列番号7)

プライマー12E は、HIV-1(NL4-3 株)の全塩基配列の 5'末端 (左端)から数えて、6943-6962 番目の配列に相補的な配列であり、サブタイプEにのみ特異的なプライマーである。

サブタイプCの検出のための第一のPCR用プライマー対とそのヌクレオチド配列

• 9B/12A

プライマー9B: CACAGTACAATGTACACATG (配列番号9)

プライマー12A: GCAATAGAAAAATTCTCCTC (配列番号5)

サブタイプDの検出のための第一のPCR用プライマー対とそのヌクレオチド配列

· 9B/12B

プライマー9B: CACAGTACAATGTACACATG (配列番号9)

プライマー12B: ACAGTAGAAAAATTCCCCTC (配列番号 6)

サブタイプFの検出のための第一のPCR用プライマー対とそのヌクレオチド配列

• 9B/12A

プライマー9B: CACAGTACAATGTACACATG (配列番号9)

プライマー12A: GCAATAGAAAAATTCTCCTC (配列番号5)

サブタイプGの検出のための第一のPCR用プライマー対とそのヌクレオチド配列

• 9B/12A

プライマー9B: CACAGTACAATGTACACATG (配列番号 9)

プライマー12A: GCAATAGAAAAATTCTCCTC (配列番号 5)

サブタイプHの検出のための第一のPCR用プライマー対とそのヌクレオチド配列

• 9B/12A

プライマー9B: CACAGTACAATGTACACATG (配列番号9)

プライマー12A: GCAATAGAAAAATTCTCCTC (配列番号 5)

あるいは、いくつかのサブタイプについて増幅産物を与えることができるプライマーの混合物をプライマーに用いて、第一のPCRを行ってもよい。この目的のためのプライマーとしては、プライマー9AE、プライマー9B、プライマー12A およびプライマー12B の混合物を挙げることができる。

このPCR産物の1/1000~1/5量(例えば、1/50量)を用いて各サブタイプに特異的なもう一組のプライマー対を用いて二回目のPCR(第二のPCR)を行う。この時、第一のPCRで増幅される標的配列の内側に第二のPCR用のプライマー対を設計する。例えば、第二のPCR用のサブタイプに特異的なプライマー対を構成する少なくとも一方のプライマーは、HIV-1のenv遺伝子のC2領域の一部のサブタイプ特異的なヌクレオチド配列に相補的な配列を含むプライマー(プライマー1)を挙げることができる。HIV-1のenv遺伝子の

Sec. 20.47

C2 領域は図1のようにサブタイプによりヌクレオチド配列に相違があるので、この領域からヌクレオチド配列を選択して、プライマーを設計するとよい。HIV-1の種々のサブタイプの env 遺伝子の V3 領域の 3 、隣接領域 (C3 領域) のヌクレオチド配列を図2に示すが、サブタイプによりヌクレオチド配列に相違があるので適当な配列を選択して、プライマーを設計することができる。サブタイプ特異的プライマーの設計にあたっては、系統樹解析法を用い、あるサブタイプのヌクレオチド配列が他のサブタイプの対応するヌクレオチド配列と最も遺伝的距離が大きいものを選び出す。例えば、もう一方のプライマーとしては、HIV-1の env 遺伝子の C3 領域の一部のヌクレオチド配列に相補的な配列を含むプライマー (プライマー 2) を挙げることができる。具体的には、以下のヌクレオチド配列を含むプライマー対を用いることができる。

サブタイプAの検出のための第二のPCR用プライマー対とそのヌクレオチド配列

· 10/11QA

プライマー10: AAATGGCAGTCTAGCAGAAG (配列番号 4)

プライマー11QA: CTCCTGAGGGGTTAGCAAAG (配列番号1)

プライマー10 は、HIV-1 (NL4-3 株)の全塩基配列の 5'末端 (左端)から数えて、6997-7016 番目の配列に相補的な配列であり、サブタイプA、B、DおよびEに特異的なプライマーである。

プライマー11QA は、HIV-1(NL4-3 株)の全塩基配列の 5'末端(左端)から数えて、7313-7294 番目の配列に相補的な配列であり、サブタイプAにのみ特異的なプライマーである。

· 10U/110A1

プライマー10U: CTGTTAAATGGCAGTCTAGC (配列番号20)

プライマー11QA1: CTCCTGAGGAGTTAGCAAAG (配列番号27)

プライマー10U は、HIV-1(NL4-3 株)の全塩基配列の 5'末端(左端)から数えて、6992-7011 番目の配列に相補的な配列であり、サブタイ

プA、B、D、EおよびJに特異的なプライマーである。

プライマー11QA1 は、HIV-1(NL4-3 株)の全塩基配列の 5'末端(左端)から数えて、7313-7294 番目の配列に相補的な配列であり、サブタイプAにのみ特異的なプライマーである。

サブタイプBの検出のための第二のPCR用プライマー対とそのヌクレオチド配列

· 10/11BB

プライマー10: AAATGCCAGTCTAGCAGAAG (配列番号4)

プライマー11BB: CTGTGCATTACAATTTCTGG (配列番号2)

プライマー11BB は、HIV-1(NL4-3 株)の全塩基配列の 5'末端 (左端)から数えて、7338-7319 番目の配列に相補的な配列であり、サブタイプBにのみ特異的なプライマーである。

· 10U/11VB

プライマー10U: CTGTTAAATGGCAGTCTAGC (配列番号20)

プライマー11VB: CACAATTAAAACTGTGCATTAC (配列番号28)

プライマー11VB は、HIV-1(NL4-3 株)の全塩基配列の 5'末端 (左端)から数えて、7349-7328 番目の配列に相補的な配列であり、サブタイプBにのみ特異的なプライマーである。

サブタイプEの検出のための第二のPCR用プライマー対とそのヌクレオチド配列

· 10/11QE

プライマー10: AAATGGCAGTCTAGCAGAAG (配列番号4)

プライマー11QE: CTCCTGAGGGTGGTTGAAAG (配列番号3)

プライマー11QE は、HIV-1(NL4-3 株)の全塩基配列の 5'末端(左端)から数えて、7313-7294 番目の配列に相補的な配列であり、サブタイプEにのみ特異的なプライマーである。

· 10U/11WE

プライマー10U: CTGTTAAATGGCAGTCTAGC (配列番号20)

プライマー11WE: CTCTACAATTAAAATGATGCATTG (配列番号30)

プライマー11WE は、HIV-1 (NL4-3 株)の全塩基配列の5'末端(左端)から数えて、7352-7339番目の配列に相補的な配列であり、サブタイプEにのみ特異的なプライマーである。

サブタイプCの検出のための第二のPCR用プライマー対とそのヌクレオチド配列

• 10C/11RC

プライマー10C: AAATGGTAGCCTAGCAGAAG (配列番号10)

プライマー11RC: CTCCTGAGGATGGTGCAAATTT (配列番号13)

プライマー10C は、HIV-1(NL4-3 株)の全塩基配列の 5'末端 (左端)から数えて、6997-7016 番目の配列に相補的な配列であり、サブタイプ C および F に特異的なプライマーである。

プライマー11RC は、HIV-1(NL4-3 株)の全塩基配列の 5'末端 (左端)から数えて、7313-7292 番目の配列に相補的な配列であり、サブタイプ C にのみ特異的なプライマーである。

• 10U/11XC

プライマー10U: CTGTTAAATGGCAGTCTAGC (配列番号20)

プライマー11XC: TTGTTTTATTAGGGAAGTGTTC (配列番号29)

プライマー11XC は、HIV-1 (NL4-3 株)の全塩基配列の 5'末端 (左端)から数えて、7289-7268 番目の配列に相補的な配列であり、サブタイプ C に特異的なプライマーである。

サブタイプDの検出のための第二のPCR用プライマー対とそのヌクレオチド配列

· 10/11RD

プライマー10: AAATGGCAGTCTAGCAGAAG (配列番号4)

プライマー11RD: CTCCTGAGGATGGTTTAAAAAT (配列番号14)

プライマー11RD は、HIV-1(NL4-3 株)の全塩基配列の 5'末端 (左端)から数えて、7313-7292 番目の配列に相補的な配列であり、サブタイプDにのみ特異的なプライマーである。

サブタイプFの検出のための第二のPCR用プライマー対とそのヌ

クレオチド配列

• 10C/11RF

プライマー10C: AAATGGTAGCCTAGCAGAAG (配列番号10)

プライマー11RF: CTCCTGAGGATGAGTTAAATTT (配列番号15)

プライマー11RF は、HIV-1 (NL4-3 株)の全塩基配列の 5' 末端 (左端)から数えて、7313-7292 番目の配列に相補的な配列であり、サブタイプFにのみ特異的なプライマーである。

サブタイプGの検出のための第二のPCR用プライマー対とそのヌクレオチド配列

• 10G/11SG

プライマー10G: GAATGGCAGTTTAGCAGAAG (配列番号11)

プライマーIISG: TCCTGCAGATGAGTTAAAGG (配列番号16)

プライマー10G は、HIV-1 (NL4-3 株)の全塩基配列の5'末端(左端)から数えて、6997-7016 番目の配列に相補的な配列であり、サブタイプ G にのみ特異的なプライマーである。

プライマー11SG は、HIV-1 (NL4-3 株)の全塩基配列の 5 末端 (左端)から数えて、7312-7293 番目の配列に相補的な配列であり、サブタイプ G にのみ特異的なプライマーである。

サブタイプHの検出のための第二のPCR用プライマー対とそのヌクレオチド配列

· 10H/11SH

プライマー10H: GTCAAATGGCAGTTTAGCAG (配列番号12)

プライマー11SH: TCCTGAGGATGGTTTAAAGG (配列番号17)

プライマー10H は、HIV-1 (NL4-3 株)の全塩基配列の 5' 末端 (左端)から数えて、6994-7013 番目の配列に相補的な配列であり、サブタイプHにのみ特異的なプライマーである。

プライマー11SH は、HIV-1 (NL4-3 株)の全塩基配列の 5' 末端 (左端) から数えて、7312-7293 番目の配列に相補的な配列であり、サブタイプ H にのみ特異的なプライマーである。

あるいは、どのサブタイプでも増幅できるようにするために、いく つかのサブタイプについて増幅産物を与えることができるプライマー の混合物を用いて、第二のPCRを行ってもよい。この目的のための プライマーとしては、以下のプライマーの混合物を挙げることができ る。

プライマー10U:AAATGGCAGTCTAGCAGAAG(配列番号4)

プライマーIILB: AATTTCTGGGTCCCCTCCTG (配列番号18)

プライマー11LAE: AATTTCTAGATCCCCTCCTG (配列番号25)

プライマーIILC: AATTTCTAGGTCCCCTCCTG (配列番号26)

プライマー11LB は、HIV-1 (NL4-3 株)の全塩基配列の 5 末端 (左側)から数えて、7327-7308 番目の配列に相補的であり、サブタイプB、D、F、Gおよび I に特異的なプライマーである。

プライマー11LAE は、HIV-1 (NL4-3 株)の全塩基配列の 5' 末端 (左側)から数えて、7327-7308 番目の配列に相補的であり、サブタイプA、E、F、G、I およびJ に特異的なプライマーである。

プライマー11LC は、HIV-1 (NL4-3 株)の全塩基配列の 5 末端 (左側)から数えて、7327-7308 番目の配列に相補的であり、サブタイプC、F、G、H、I およびJ に特異的なプライマーである。

その他に、以下のようなプライマーを利用することができる。

プライマー10KC: CTCAACTACTGTTAAATGGTAG (配列番号21)

プライマー10KC は、HIV-1(NL4-3 株)の全塩基配列の 5'末端(左端)から数えて、6984-7005 番目の配列に相補的な配列であり、サブタイプ C にのみ特異的なプライマーである。

プライマー10UF: CTGTTAAATGGCAGCCTAGC (配列番号22)

プライマー10UF は、HIV-1(NL4-3 株)の全塩基配列の 5 末端(左端)から数えて、6992-7011 番目の配列に相補的な配列であり、サブタイプA、E、F、Hおよび I に特異的なプライマーである。

プライマー10UG: CTGTTAAATGGCAGTTTAGC (配列番号23)

プライマー10UG は、HIV-1(NL4-3株)の全塩基配列の 5'末端(左端)

から数えて、6992-7011 番目の配列に相補的な配列であり、サブタイプA、E、G、IおよびJに特異的なプライマーである。

プライマー10UC: CTGTTAAATGGTAGTCTAGC (配列番号24)

プライマー10UC は、HIV-1 (NL4-3 株) の全塩基配列の 5 末端 (左端) から数えて、6992-7011 番目の配列に相補的な配列であり、サブタイプ C および E に特異的なプライマーである。

プライマーIILE: AATTTCTAGATCTCCTCCTG (配列番号19)

プライマー11LE は、HIV-1 (NL4-3 株) の全塩基配列の 5' 末端 (左側) から数えて、7327-7308 番目の配列に相補的であり、サブタイプE、F、G、HおよびJ に特異的なプライマーである。

プライマーIILC: AATTTCTAGGTCCCCTCCTG (配列番号26)

プライマー11LC は、HIV-1 (NL4-3 株) の全塩基配列の 5 末端 (左端) から数えて、7327-7308 番目の配列に相補的な配列であり、サブタイプ C、F、G、H、I およびJ に特異的なプライマーである。

プライマー11TC: TTCTCCTCTACAATTAAAGC (配列番号 3 1)

プライマー11TC は、HIV-1 (NL4-3 株)の全塩基配列の 5'末端 (左端)から数えて、7357-7338 番目の配列に相補的な配列であり、サブタイプ C にのみ特異的なプライマーである。

プライマー11RC1: TTATTGTTTTATTAGGGAAGTG (配列番号32)

プライマー11RC1 は、HIV-1(NL4-3 株)の全塩基配列の 5 末端(左端)から数えて、7292-7271 番目の配列に相補的な配列であり、サブタイプ Cにのみ特異的なプライマーである。

プライマー11SE: TGCATTGTAATTTCTAGATCTC (配列番号33)

プライマー11SE は、HIV-1 (NL4-3 株)の全塩基配列の 5 末端 (左端)から数えて、7333-7314 番目の配列に相補的な配列であり、サブタイプEにのみ特異的なプライマーである。

プライマー11BE: TGATGCATTGTAATTTCTAG (配列番号34)

プライマー11BE は、HIV-1 (NL4-3 株)の全塩基配列の 5'末端 (左端)から数えて、7338-7319 番目の配列に相補的な配列であり、サブタイ

プEにのみ特異的なプライマーである。

PCRの手順および反応条件は、Bruisten S. et al., AIDS Res Hum Retroviruses 1993, 9:259-265 に従えばよいが、ホットスタート法を行うことが望ましい。ホットスタート法とは、PCR反応液がホットプレートに置かれて、温度が高温(通常 90 $\heartsuit$ 以上)になって初めて働き始めるPCR法をいう。

ところで、上記のような方法でHIV-1のサブタイプ決定を行った際に、どのサブタイプも検出されないことがある。その原因として、HIV-1 DNA濃度が検出限界以下であったか、あるいはプライマー結合部分に多数の変異が存在していた可能性が考えられる。

前者の可能性に対しては、一般に、HIV-1は細胞中よりも血漿中の方が濃度が高いので、血漿からRNAを抽出し、逆転写酵素を用いてcDNAに変換してから上記の方法を行う。

後者の可能性に対しては、本法によるサブタイプ判定は保留とし、HIV-1の他の遺伝子領域をPCRで増幅してXクレオチド配列を決定し、従来の方法でサブタイプを決定する。(注:感染の有無は抗体検査によって行う。本法はHIV-1感染を判定するものではない。)

PCRの反応生成物をアガロースゲル電気泳動により分離し、エチジウムプロミド染色で検出する。試料DNA中のHIV-1のサブタイプに一致したプライマーを用いたときは明瞭なバンドが観測されるが、一致しないときは微かなバンドが観測されるかあるいは全くバンドが観測されない。これによってHIV-1のサブタイプを決定する。

本発明のHIV-1のサブタイプ決定法は、さらに、HIV-1のゲノムのヌクレオチド配列の一部であって、ヌクレオチド配列がすべてのサブタイプの間で高度に保存されている一部を標的配列とする核酸の増幅反応を行い、核酸の増幅の有無によりHIV-1の存在または不存在を確認する工程を含んでもよい。HIV-1の存在または不存在を確認する工程は、第一のPCR用のプライマーの混合物(例えば、9 AE/9B/12A/12B)を用いて、HIV-1のゲノムのヌクレオチド

配列の一部であって、ヌクレオチド配列がすべてのサブタイプの間で高度に保存されている一部を標的配列とする核酸の増幅反応を行った後、第二のPCR用のプライマーの混合物(例えば、10U/11LB/11LAE/11LC)を用いて、前記標的配列の内部のヌクレオチド配列を標的配列とする第二の増幅反応を行い、核酸の増幅の有無によりHIV-1の存在または不存在を確認することからなるとよい。

本発明は、HIV-1の env 遺伝子のヌクレオチド配列の一部であって、5'末端部および 3'末端部のうちの少なくとも片方のヌクレオチド配列がサブタイプにより異なる一部を標的配列とするプライマー対を含む、HIV-1のサブタイプを決定するためのキットも包含する。プライマー対としては、上述したような、第二のPCR用のプライマー対(inner primers)、あるいは第一のPCR用のプライマー対(outer primers)と第二のPCR用のプライマー対との組み合わせを挙げることができる。本発明のキットは、その他にも、dNTP混合物、反応用バッファー、DNAポリメラーゼ、第一のPCR用のサブタイプ共通プライマー対(例えば、9B/12B)、第二のPCR用のサブタイプ共通プライマー対(例えば、10U/11VB)などを含むとよい。また、プライマーと検体 HIV-1 DNA の塩基対の不一致による影響を減じるために、反応バッファー中のマグネシウムイオン濃度を通常の1.5 mMを4 mM 程度まで高めることが望ましい。

この診断キットにおいて、キットを構成する要素は、各々あるいは 組み合わせてあるいはひとまとめにして、バイアル、チューブなどの ような容器に包含されていてもよく、さらに、それらの容器はひとま とめにして納めるための区画化された担持手段に納められていてもよ い。

# 発明を実施するための最良の形態

以下に、本発明を実施例により具体的に説明するが、本発明の範囲はこれらに何ら限定されることはない。

### 〔実施例1〕

20

### 対象と方法

1) サブタイプ決定法の検討のためのサブタイプ別標準検体

env 遺伝子のシーケンシングと系統樹解析により、サブタイプAと決定されたHIV感染者3名、サブタイプBと決定されたHIV感染者8名、およびサブタイブEと決定されたHIV感染者3名の血液より、DNAを抽出し、これを標準検体として用いた。

2) サブタイプを決定した対象

東京都内の病院に通院または入院している8名のHIV感染者を対象としてHIV-1のサブタイプを決定した。

3) HIV患者の血液からのDNAの調製

上記のHIV感染者から、10 ml の末梢血を採取した。抗凝固剤どしてクエン酸ナトリウムを用いた。 末梢血から Ficol1-Paque (Pharmacia 社) 密度勾配遠心によって単核球を分離した後、QIAamp Blood Kit (QIAGEN社) を用いて DNA を調製した。DNA は純水あるいは1mM EDTA を含むバッファーに溶解し、使用直前まで-20℃で保存した。この DNA の 0.5 μ g を用いて、P C R を行った。

4) PCRによるサブタイプA、BおよびEの検出PCRに使用したプライマーのヌクレオチド配列を図3に示す。

サブタイプAの特異的検出のために、一回目のPCR用のプライマーとして、9AE と 12A を用い、二回目のPCR用のプライマーとして、10 と 11QA を用いて、nested PCR を行った。サブタイプBの特異的検出のためには、一回目のPCR用のプライマーとして、9B と 12B を用い、二回目のPCR用のプライマーとして、10 と 11BB を用いて、nested PCR を行った。サブタイプEの特異的検出のためには、一回目のPCR用のプライマーとして、9AE と 12E を用い、二回目のPCR用のプライマーとして、10 と 11QE を用いて、nested PCR を行った(図 3)。

PCRは、HIV感染者から調製した DNA のうちの  $0.5\mu$  gを試料として用い、 $100\mu$  Lの反応液(10 mM Tris-HCl pH 8.3, 50 mM KCl, 4 mM MgCl, 0.2 mM dNTP, 1.0  $\mu$  M のプライマー, 2.5 単位の Tag

polymerase)で、94  $^\circ$  15 秒、56  $^\circ$  30 秒、72  $^\circ$  1 分のサイクルを 30 回行った。二回目のPCRは、一回目のPCRの反応液  $2\mu$  Lを試料として用い、同じ条件で 25 サイクル行った。ただし、56  $^\circ$  30 秒の代わりに 60  $^\circ$  30 秒とした。

PCR産物(サブタイプAとEは 317 bp、サブタイプBは 342 bp) の検出は、2%アガロースゲルの電気泳動による分離後、エチジウムブロミド染色を行うことにより行った。

## 結果

1) サブタイプ別標準検体のPCRによるサブタイプ決定の検討

ウイルスゲノムのシークエンシングによってサブタイプが決定されている検体については、以下のような結果となった。サブタイプA検出用プライマーを用いたPCRではサブタイプAの検体のみ陽性で、サブタイプBおよびEの検体はすべて陰性であった。また、サブタイプB検出用プライマーを用いたPCRではサブタイプBの検体のみ陽性で、サブタイプAおよびEの検体はすべて陰性であった。また、サブタイプE検出用プライマーを用いたPCRではサブタイプEの検体のみ陽性で、サブタイプAおよびBの検体はすべて陰性であった(図4)。

2) PCRによるHIV感染者のサブタイプ決定

東京都内の病院に通院または入院している8名のHIV感染者についてHIV-1のサブタイプを決定した結果を表1に示す。

こ対するサブタイプ決定法の結果

サブタイプE用プライマー対	111+1+11	
サブタイプB用プライマー対	+++10.1++	
サブタイプA用 プライマー対		
<b>売</b> 例	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	

+はHIV-1特異的DNAバンドが検出されたことを示し、 されなかったことを示す。症例22の?は、予想より短いバン されたことを示す。

この結果から、症例 P18、P19、P20、P24、P25 はサブタイプBに感染し、症例 P21 と P23 はサブタイプEに感染していると診断される。症例 P22 では、サブタイプB用のプライマー対を用いたときのみDNAバンドが検出されたが、その長さが予想よりも短かったので判定保留とした。以上の診断結果が正しいことを確認するために、増幅されたDNAをシーケンシングし、系統樹解析を行ったが、その結果は表1の結果と一致していた。判定保留の症例 P22 はサブタイプBであった。

1)と2)の結果を合わせると、本法は22症例中21症例のサブタイプを正しく診断できた。残りの1症例は判定保留であった。すなわち、本法は簡便で正確なサブタイプ決定法であることが実証された。

本発明の方法によれば、1 検体あたり約 2,000 円程度の費用で、H I V-1 のサブタイプを決定することができる。また、サブタイプ決定に必要な時間は、8 検体を一度に扱うとして、DNA分離に 2 時間、PCR に 6 時間、電気泳動に 1 時間程度である。

### 〔実施例2〕

## 対象と方法

1) サブタイプ決定法の検定のためのサブタイプ別標準検体

実施例 2 で対象とした、サプタイプAのHIV-1の感染者 3 名、サプタイプBのHIV-1の感染者 3 名、およびサブタイプEのHIV-1の感染者 3 名に、env 遺伝子のシーケンシングと系統樹解析によりサプタイプCと決定されたHIV-1の感染者 2 名を加えた合計 1 1名の血液よりDNAを抽出し、これを標準検体として用いた。

2) サブタイプを決定した対象

東京都内の病院に通院または入院している32名のHIV感染者を対象としてHIV-1のサブタイプを決定した。

3) HIV患者の血液からのDNAの調製

上記のHIV感染者から、10mlの末梢血を採取した。抗凝固剤としてクエン酸ナトリウムを用いた。末梢血から Ficoll-Paque

Sugar mains

(Pharmacia 社) 密度勾配遠心によって単核球を分離した後、QIAamp Blood Kit (QIAGEN 社) を用いてDNAを調製した。DNAは純水あるいは 1 mM EDTA を含むバッファーに溶解し、使用直前まで-20℃で保存した。このDNAの 0.5 μ gを用いて、PCRを行った。

4) P C R によるサブタイプA, B, C および E の検出 P C R に使用したプライマーのヌクレオチド配列を図 5 に示す。

一回目のPCR用のプライマーとして、9AE、9B、12A および 12B の混合物を用いた。二回目のPCR用のプライマーとして、サブタイプ A の特異的検出のためには 10U と 11QAI を用い、サブタイプ C の特異的検出のためには 10U と 11VB を用い、サブタイプ C の特異的検出のためには 10U と 11XC を用い、サブタイプ E の特異的検出のためには 10U と 11XC を用い、サブタイプ E の特異的検出のためには 10U と 11WE を用いて 11WE を行った。サブタイプ に関係なくH I V 11WE を用いて 11WE のには、10U、11LB、11LAE および 11LC の混合物を用いて 11WE を行った(図 5)。

PCRは、HIV感染者から調製したDNAのうちの  $0.5\mu$ gを試料として用い、 $100\mu$ Lの反応液( $10\,\mathrm{mM}$  Tris-HCl pH 8.3,  $50\,\mathrm{mM}$  KCl、 $4\,\mathrm{mM}$  MgCl2,  $0.2\mathrm{mM}$  dNTP,  $1.0\,\mu$ M プライマー,  $2.5\,\mu$ 0の Taq polymerase)で、94%15 秒、56%30 秒、72%1 分のサイクルを  $30\,\mathrm{mm}$  行った。二回目のPCRは、一回目のPCRの反応液  $2\,\mu$ L を試料として用い、同じ条件で  $25\,\mathrm{th}$  イクル行った。ただし、 $56\%30\,\mathrm{th}$  の代わりに  $60\%30\,\mathrm{th}$  とした。

PCR産物(サブタイプAは322 bp、サブタイプBは358 bp、サブタイプCは298 bp、サブタイプEは361 bp)の検出は、2%アガロースゲルの電気泳動による分離後、エチジウムブロミド染色を行うことにより行った。

## 結果

1) サブタイプ別標準検体のPCRによるサブタイプの検討

ウイルスゲノムのシーケンシングによってサブタイプが決定されている検体については、以下のような結果となった。サブタイプA検出

用のプライマーを用いた P C R ではサブタイプ A の検体のみ陽性で、サブタイプ B、 C および E の検体はすべて陰性であった。また、サブタイプ B 検出用のプライマーを用いた P C R ではサブタイプ B の検体のみ陽性で、サブタイプ A、 C および E の検体はすべて陰性であった。また、サブタイプ C 検出用のプライマーを用いた P C R ではサブタイプ C の検体のみ陽性で、サブタイプ A、 B および E の検体はすべて陰性であった。また、サブタイプ E 検出用のプライマーを用いた P C R ではサブタイプ E の検体のみ陽性で、サブタイプ A、 B および C の検体はすべて陰性であった(図 6)。また、サブタイプ に関係なく H I V -1 の D N A を 増幅する ためのプライマーを用いた P C R ではすべての検体が陽性であった(図 6)。

2) PCRによるHIV感染者のサブタイプ決定。

東京都内の病院に通院または入院している32名のHIV感染者を対象としてHIV-1のサブタイプを決定した。内訳は、11例のサブタイプ別標準検体を合わせると、サブタイプAが3例、サブタイプBが30例、サブタイプCが2例、サブタイプEが8例であった。

以上の診断結果が正しいことを確認するために、PCRによってサブタイプが決定されたHIV感染者合計43名のうちの21名について、増幅されたDNAをシーケンシングし、系統樹解析を行った結果を図7に示す。その結果、これらのHIV-1について、PCRによって決定されたサブタイプと系統樹分析によって決定されたサブタイプは完全に一致していた。

実施例2が実施例1と方法において大きく異なる点は、一回目のPCRではプライマーを共通にし、二回目のPCRでサブタイプ特異的プライマーを用いたことである。その結果、PCRの反応数を8分の5に軽減することができた。実施例1では判定保留例が1例あったことを考え合わせると、実施例2の方法によって、診断がより正確になるとともに、一層簡便なものにすることができた。

3) 遺伝型による薬剤耐性検査に与えるサブタイプの影響

遺伝型による薬剤耐性検査はサブタイプBのデータをもとに行われ ている。サブタイプB以外のHIV-1の薬剤耐性をサブタイプBの データで判定できるかどうかを調べるために、サブタイプB以外のH IV-1に感染し、HAART療法を受けている4名の感染者につい て、HAART療法開始前後におけるHIV-1のプロテアーゼのア ミノ酸配列を決定した。図8にはプロテアーゼ阻害剤に対する耐性と 関係があるアミノ酸のみを示す。サブタイプEに感染した症例C3の 場合、HAART療法開始後、アミノ酸番号10がL(ロイシン)か らF (フェニルアラニン) に、またアミノ酸番号20がK (リシン) がT(スレオニン)に変異している。これらはサブタイプBにおいて 薬剤耐性を示すアミノ酸変異として認められている。しかし、4名の 患者すべてで、アミノ酸番号36がHAART療法開始前からI(イ ソロイシン)となっている。サブタイプBのデータでは、アミノ酸番 号36がIのHIV-1は薬剤耐性であると判定される。しかし、H IV-1が薬剤投与前から薬剤耐性を獲得していたとは考えにくい。 したがって、この変異はサブタイプB以外のHIV-1では薬剤耐性 とは関係ないと考えた方が自然である。この結果から、遺伝型によっ て薬剤耐性を正しく判定するためには、サブタイプを事前に診断する ことが重要であると考えられる。

# 4) サブタイプと性行動の関係

面接によって性的嗜好が推定できたHIV感染者22名について、サブタイプと性的行動との関係を図9にまとめた。Heterosexualとは異性愛者、MSMとは男性同性愛者のことである。異性愛者ではサブタイプBとEが同数であるのに対して、男性同性愛者ではサブタイプBが圧倒的に多い。これは、東南アジア由来のHIVが異性愛者の中に浸透しているが、男性同性愛者の中にはあまり浸透していないことを示唆していると考えられる。

〔実施例3〕

対象と方法

1) ウェスタンブロット法陰性、PA法陽性の血清検体

東京都内の病院における血液検査で、ウェスタンブロット法ではH I V-1 陰性であったが、P A 法ではH I V-1 陽性であった 1 5 件の血清検体を対象とした。

2) 血漿からのRNAからのDNAの調製

上記の血清検体 200 μ L から RNAeasy Kit (QIAGEN 社) を用いて R N A を調製した。R N A は純水に溶解し、使用直前まで-20℃で保存 した。

3) PCRによるHIV-1の検出

血清  $20 \mu$  L分に相当するRNAを試料とし、プライマー12A と 12B の混合物を用い、 $20 \mu$  Lの反応液(10 mM Tris-HCl pH 8.3, 50 mM KCl, 2.5 mM MgCl<sub>2</sub>, 1 mM dNTP, 5  $\mu$  M プライマー, 100 単位の逆転写酵素)で、42  $\mathbb{C}$  30 分反応させ c DNAを合成した。この c DNAを試料とし、サブタイプに関係なくHIV-1 のDNAを増幅できる nested PCR を行った。一回目のPCR用のプライマーとして、9AE、9B、12A および 12B の混合物を用いた。二回目のPCR用のプライマーとして、10U、11LB、11LAE および 11LC の混合物を用いた。

一回目のPCRは、100  $\mu$  Lの反応液(10 mM Tris-HCl, pH8.3, 50 mM KCl, 4 mM MgCl<sub>2</sub>, 0.2 mM dNTP, 1.0  $\mu$  M プライマー, 2.5 単位の Taq polymerase)で、94℃15 秒、56℃30 秒、72℃1分のサイクルを 30 回行った。二回目のPCRは、一回目のPCRの反応液  $2\mu$  Lを試料として用い、同じ条件で 25 サイクル行った。ただし、56℃30 秒の代わりに 60℃30 秒とした。

PCR産物(サブタイプAは322 bp、サブタイプBは358 bp、サブタイプCは298 bp、サブタイプEは361 bp)の検出は、2%アガロースゲルの電気泳動による分離後、エチジウムブロミド染色を行うことにより行った。

## <u>結果</u>

ウェスタンブロット法ではHIV-1陰性であるが、PA法ではH

Same

IV-1陽性であった15件の血清検体いずれからもPCRによってHIV-1が検出されなかった(図10)。今回用いたPCRはすべてのサブタイプのHIV-1が検出できるように設計されたもので、少なくとも、サブタイプA、B、CおよびEのHIV-1は検出できることが実証されている(図6)。したがって、今回検査した血清検体のウェスタンブロット法とPA法の結果が一致しなかったのは、サブタイプの問題ではなく、PA法による擬陽性の結果である可能性が高いと考えられる。

このように、サブタイプに関係なくHIV-1が検出できるPCRは、HIV-1感染の確定診断として有効であると考えられる。

本発明により、HIV-1のサブタイプを決定する簡便な方法が提供された。

また、HIV-1のサブタイプを決定するのに有効な手段も提供された。

配列番号1は、プライマーIIQAのヌクレオチド配列を示す。

配列番号2は、プライマー11BBのヌクレオチド配列を示す。

配列番号3は、プライマー11QEのヌクレオチド配列を示す。

配列番号4は、プライマー10のヌクレオチド配列を示す。

配列番号5は、プライマー12Aのヌクレオチド配列を示す。

配列番号6は、プライマー12Bのヌクレオチド配列を示す。

配列番号7は、プライマー12Eのヌクレオチド配列を示す。

配列番号8は、プライマー9AEのヌクレオチド配列を示す。

配列番号9は、プライマー9Bのヌクレオチド配列を示す。

配列番号10は、プライマー10Cのヌクレオチド配列を示す。

配列番号11は、プライマー10Gのヌクレオチド配列を示す。

配列番号12は、プライマー10Hのヌクレオチド配列を示す。

配列番号13は、プライマー11RCのヌクレオチド配列を示す。

配列番号14は、プライマー11RDのヌクレオチド配列を示す。

配列番号15は、プライマー11RFのヌクレオチド配列を示す。

配列番号16は、プライマーIISGのヌクレオチド配列を示す。 配列番号17は、プライマー11SHのヌクレオチド配列を示す。 配列番号18は、プライマーIILBのヌクレオチド配列を示す。 配列番号19は、プライマーIILEのヌクレオチド配列を示す。 配列番号20は、プライマー10Uのヌクレオチド配列を示す。 配列番号21は、プライマー10KCのヌクレオチド配列を示す。 配列番号22は、プライマー10UFのヌクレオチド配列を示す。 配列番号23は、プライマー10UGのヌクレオチド配列を示す。 配列番号24は、プライマー10UCのヌクレオチド配列を示す。 配列番号25は、プライマーIILAEのヌクレオチド配列を示す。 配列番号26は、プライマーIILCのヌクレオチド配列を示す。 配列番号27は、プライマー11QA1のヌクレオチド配列を示す。 配列番号28は、プライマー11VBのヌクレオチド配列を示す。 配列番号29は、プライマー11XCのヌクレオチド配列を示す。 配列番号30は、プライマー11WEのヌクレオチド配列を示す。 配列番号31は、プライマーliTCのヌクレオチド配列を示す。 配列番号32は、プライマー11RC1のヌクレオチド配列を示す。 配列番号33は、プライマー11SEのヌクレオチド配列を示す。 配列番号34は、プライマー11BEのヌクレオチド配列を示す。

### 請求の範囲

- 1. HIV-1の env 遺伝子のヌクレオチド配列の一部であって、5'末端部および 3'末端部のうちの少なくとも片方のヌクレオチド配列がHIV-1のサブタイプにより異なる一部を標的配列として核酸の増幅反応を行い、核酸の増幅の有無によりサブタイプの検出を行うことを特徴とする、HIV-1のサブタイプを決定する方法。
- 標的配列が100~2500ヌクレオチドの長さである請求項 1記載の方法。
- 3. 標的配列の3'末端および/または5'末端から1番目~30番目の塩基までの配列がサブタイプによって異なる請求項1に記載の方法。
- 4. 標的配列の 3'末端がH I V-1の env 遺伝子の C3 領域にある請求項 3 記載の方法。
- 5. 標的配列の 5'末端がH I V-1の env 遺伝子の C2 領域にある請求項 4 記載の方法。
- 6. 異なるプライマー対を用いる異なる増幅反応を行い、異なるサブタイプの検出を行う請求項1に記載の方法。
- 7. HIV-1の env 遺伝子の C3 領域の一部のサブタイプによって異なるヌクレオチド配列(ヌクレオチド配列1)に相補的な配列を含むプライマー(プライマー1)とHIV-1の env 遺伝子の C2 領域の一部のヌクレオチド配列(ヌクレオチド配列2)に相補的な配列を含むプライマー(プライマー2)とからなるプライマー対を用いる増幅反応を少なくとも2回プライマー対を変えて行い、少なくとも2つのサブタイプの検出を行う請求項6記載の方法。
- 8. 第一のプライマー対を用いて、HIV-1の env 遺伝子のヌクレオチド配列の一部を標的配列とする第一の増幅反応を行った後、第二のプライマー対を用いて、前記標的配列の一部であって、5'末端部および 3'末端部のうちの少なくとも片方のヌクレオチド配列がサブタイプにより異なる一部を標的配列とする第二の増幅反応を行い、第二の増幅反応による核酸の増幅の有無によりサブタイプの検出を行う

請求項1に記載の方法。

- 9. 第二のプライマー対が、HIV-1の env 遺伝子の C3 領域の一部のサブタイプによって異なるヌクレオチド配列(ヌクレオチド配列1)に相補的な配列を含むプライマー(プライマー1)とHIV-1の env 遺伝子の C2 領域の一部のヌクレオチド配列(ヌクレオチド配列2)に相補的な配列を含むプライマー(プライマー2)とからなり、第一のプライマー対が、HIV-1の env 遺伝子のヌクレオチド配列1の3'末端の下流の領域の一部のヌクレオチド配列(ヌクレオチド配列3)に相補的な配列を含むプライマー(プライマー3)とHIV-1の env 遺伝子のヌクレオチド配列2の5'末端の上流の領域の一部のヌクレオチド配列(ヌクレオチド配列4)に相補的な配列を含むプライマー(プライマー4)とからなる請求項8記載の方法。
- 10. 第一のプライマー対を用いてHIV-1の env 遺伝子のヌクレオチド配列の一部を標的配列とする第一の増幅反応を行った後、第二のプライマー対を用いて前記標的配列の内部のヌクレオチド配列を標的配列とする第二の増幅反応を行い、第二の増幅反応による核酸の増幅の有無によりサブタイプの検出を行う一連の操作を第二のプライマー対を変えて少なくとも1回繰り返すことにより、少なくとも2つのサブタイプの鑑別を行う請求項8に記載の方法。
- 11. (a)第一のプライマー対として、GCAATAGAAAAATTCTCCTC(配列番号 5)のヌクレオチド配列を含むプライマー12A およびACAGTAGAAAAATTCCCCTC(配列番号 6)のヌクレオチド配列を含むプライマー12Bの混合物と、CACAGTACAATGCACACATG(配列番号 8)のヌクレオチド配列を含むプライマー9AE および CACAGTACAATGTACACATG(配列番号 9)のヌクレオチド配列を含むプライマー9Bの混合物を用い、第二のプライマー対として、CTCCTGAGGAGTTAGCAAAG(配列番号 27)のヌクレオチド配列を含むプライマー10A1 およびCTGTTAAATGGCAGTCTAGC(配列番号 20)のヌクレオチド配列を含むプライマー10Uを用いサブタイプAの検出を行い、

To King Maker

- (b) 第一のプライマー対として、GCAATAGAAAAATTCTCCTC (配列番号 5) のヌクレオチド配列を含むプライマー12A およびACAGTAGAAAAATTCCCCTC (配列番号 6) のヌクレオチド配列を含むプライマー12B の混合物と、CACAGTACAATGCACACATG (配列番号 8) のヌクレオチド配列を含むプライマー9AE および CACAGTACAATGTACACATG (配列番号 9) のヌクレオチド配列を含むプライマー9B の混合物を用い、第二のプライマー対として、CACAATTAAAACTGTGCATTAC (配列番号 28) のヌクレオチド配列を含むプライマー11VB およびCTGTTAAATGGCAGTCTAGC (配列番号 20) のヌクレオチド配列を含むプライマー10Uを用いサブタイプBの検出を行い、
- (c) 第一のプライマー対として、GCAATAGAAAAATTCTCCTC(配列番号 5)のヌクレオチド配列を含むプライマー12A およびACAGTAGAAAAATTCCCCTC(配列番号 6)のヌクレオチド配列を含むプライマー12B の混合物と、CACAGTACAATGCACACATG(配列番号 8)のヌクレオチド配列を含むプライマー9AE および CACAGTACAATGTACACATG(配列番号 9)のヌクレオチド配列を含むプライマー9Bの混合物を用い、第二のプライマー対として、TTGTTTTATTAGGGAAGTGTTC(配列番号 2 9)の ヌクレオチド配列を含むプライマー11XC およびCTGTTAAATGGTAGTCTAGC(配列番号 2 4)のヌクレオチド配列を含むプライマー10UCを用いサブタイプCの検出を行い、
- (d) 第一のプライマー対として、GCAATAGAAAAATTCTCCTC(配列番号 5) のヌクレオチド配列を含むプライマー12A およびACAGTAGAAAAATTCCCCCTC(配列番号 6)のヌクレオチド配列を含むプライマー12B の混合物と、CACAGTACAATGCACACATG(配列番号 8)のヌクレオチド配列を含むプライマー9AE および CACAGTACAATGTACACATG(配列番号 9)のヌクレオチド配列を含むプライマー9B の混合物を用い、第二のプライマー対として、CTCTACAATTAAAATGATGCATTG(配列番号 30)のヌクレオチド配列を含むプライマー 11WE およびCTGTTAAATGGCAGTCTAGC(配列番号 20)のヌクレオチド配列を含むプ

ライマー10U を用いサブタイプEの検出を行うことにより、サブタイプA、B、CおよびEの鑑別を行う請求項10記載の方法。

- 12. 第一のプライマー対を用いてHIV-1の env 遺伝子のヌクレオチド配列の一部を標的配列とする第一の増幅反応を行った後、第二のプライマー対を用いて前記標的配列の内部のヌクレオチド配列を標的配列とする第二の増幅反応を行い、第二の増幅反応による核酸の増幅の有無によりサブタイプの検出を行う一連の操作を第一のプライマー対および第二のプライマー対を変えて少なくとも1回繰り返すことにより、少なくとも2つのサブタイプの鑑別を行う請求項8に記載の方法。
- 13. (a) 第一のプライマー対として、GCAATAGAAAAATTCTCCTC(配列番号 5) のヌクレオチド配列を含むプライマー12A および CACAGTACAATGCACACATG(配列番号 8)のヌクレオチド配列を含むプライマー9AE を用い、第二のプライマー対として、CTCCTGAGGGGTTAGCAAAG(配列番号 1)のヌクレオチド配列を含むプライマー11QA および AAATGGCAGTCTAGCAGAG(配列番号 4)のヌクレオチド配列を含むプライマー10を用いてサブタイプAの検出を行い、
- (b) 第一のプライマー対として、ACAGTAGAAAAATTCCCCTC (配列番号 6) の ヌ ク レ オ チ ド 配 列 を 含 む プ ラ イ マ ー 12B お よ び CACAGTACAATGTACACATG (配列番号 9) のヌクレオチド配列を含むプライマー9B を用い、第二のプライマー対として、CTGTGCATTACAATTTCTGG (配列番号 2) のヌクレオチド配列を含むプライマー11BB および AAATGGCAGTCTAGCAGAAG (配列番号 4) のヌクレオチド配列を含むプライマー10 を用いてサブタイプBの検出を行い、また、
- (c) 第一のプライマー対として、GCAATAGAAAAATTCCCCTC (配列番号 7) の ヌ ク レ オ チ ド 配 列 を 含 む プ ラ イ マ ー 12E お よ び CACAGTACAATGCACACATG (配列番号 8) のヌクレオチド配列を含むプライマー9AE を用い、第二のプライマー対として、CTCCTGAGGGTGGTTGAAAG (配列番号 3) のヌクレオチド配列を含むプライマー11QE および

AAATGGCAGTCTAGCAGAAG(配列番号 4)のヌクレオチド配列を含むプライマー10 を用いてサブタイプEの検出を行うことにより、サブタイプA、BおよびEの鑑別を行う請求項12記載の方法。

- 14. さらに、HIV-1のゲノムのヌクレオチド配列の一部であって、ヌクレオチド配列がすべてのサブタイプの間で高度に保存されている一部を標的配列とする核酸の増幅反応を行い、核酸の増幅の有無によりHIV-1の存在または不存在を確認する工程を含む請求項1に記載の方法。
- 15. HIV-1の存在または不存在を確認する工程が、第一のプライマー対を用いて、HIV-1のゲノムのヌクレオチド配列の一部であって、ヌクレオチド配列がすべてのサブタイプの間で高度に保存されている一部を標的配列とする核酸の増幅反応を行った後、第二のプライマー対を用いて、前記標的配列の内部のヌクレオチド配列を標的配列とする第二の増幅反応を行い、核酸の増幅の有無によりHIV-1の存在または不存在を確認することからなる請求項14記載の方法。
- 16. ヌクレオチド配列が異なる複数の上流プライマーおよびヌクレオチド配列が異なる複数の下流プライマーの混合物をプライマーとして用いる請求項15記載の方法。
- 17. 第一のプライマーとして、GCAATAGAAAAATTCTCCTC(配列番号 5)のメクレオチド配列を含むプライマー12A、ACAGTAGAAAAATTCCCCTC(配列番号 6)のヌクレオチド配列を含むプライマー12B、CACAGTACAATGCACACATG(配列番号 8)のヌクレオチド配列を含むプライマー9AE および CACAGTACAATGTACACATG(配列番号 9)のヌクレオチド配列を含むプライマー9B の混合物を用い、第二のプライマー対として、AATTTCTGGGTCCCCTCCTG(配列番号 18)のヌクレオチド配列を含むプライマー11LB、AATTTCTAGATCCCCTCCTG(配列番号 25)のヌクレオチド配列を含むプライマー11LAE、AATTTCTAGGTCCCCTCCTG(配列番号 26)のヌクレオチド配列を含むプライマー11LAE、AATTTCTAGGTCCCCTCCTG(配列番号 26)のヌクレオチド配列を含むプライマー11LAE、AATTTCTAGGTCCCCTCCTG(配列番号 26)のヌクレオチド配列を含むプライマー11LC および

CTGTTAAATGGCAGTCTAGC(配列番号20)のヌクレオチド配列を含むプライマー10Uの混合物を用いる請求項16記載の方法。

18. HIV-1の env 遺伝子のヌクレオチド配列の一部であって、5'末端部および 3'末端部のうちの少なくとも片方のヌクレオチド配列がサブタイプにより異なる一部を標的配列とするプライマー対を含む、HIV-1のサブタイプを決定するためのキット。

## 1 / 1 0

# F i g. 1

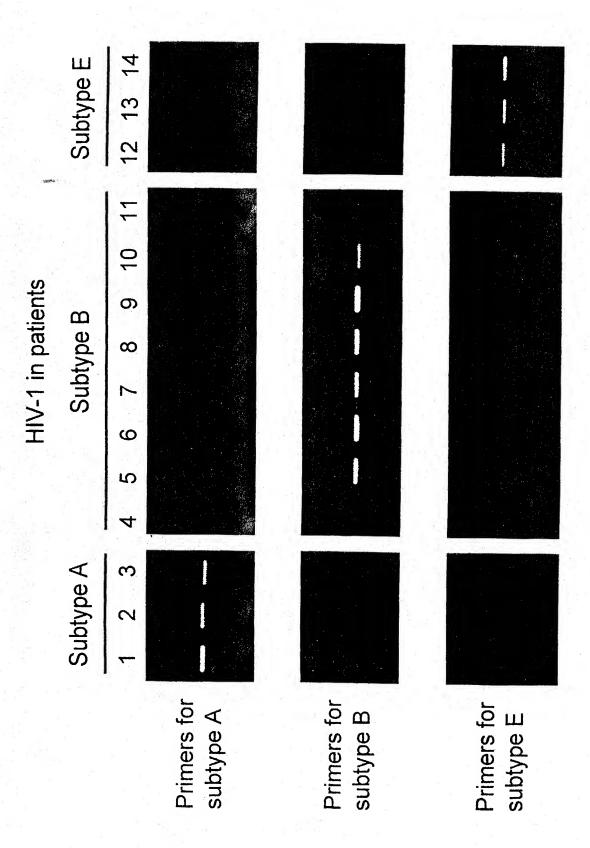
サブタイプA	TGTAataccTCAgccatTAcAcAgGCtTGtCCaAAggTatCCTTTGAgCCaATTCCCATA
サプタイプ B	ct
サブタイプC	
サブタイプ D	a
サブタイプE	aGt
サブタイプF	T-GG-T
サブタイプG	gtAAga?Tc
サブタイプ H	GAGTT
サブタイプA	caTTATTGtgCcCCaGCTGGtTttGCgATtCTAAagTGtAa?gataaggagTTcaatGGA
サブタイプ B	gg
サブタイプ C	taacag
サブタイプD	aaaaaa
サブタイプE	a-tg
サブタイプF	
サブタイプG	tgga-?
サブタイプ H	GGA
م هساد المحسان	
サブタイプA	acAGGgccatGcaagAATGTcAGcaCaGTaCAATGcACacATGGaATcAagCCAGtagTa
サブタイプB	at-cat-gt-g
サブタイプC	atg
サブタイプD	
サブタイプE	tA
サブタイプF サブタイプ G	gTAg
サブタイプ H	AT-ag
92942 H	GAATATTT
サプタイプA	+CAAC+CAaCTGCTG+TaAATGCCAAC+aTACCAACAA
サブタイプB	tCAACtCAaCTgcTGtTaAATGGcAGtcTAGCAgaAgaa???gaggTAatgaTtagaTCT
サブタイプC	aaa
サブタイプ D	
サブタイプE	tt
サブタイプF	
サブタイプ G	t-ac-gt
サブタイプ H	T-AC-GTCAAATG-CAGTTTC?aa
サブタイプA	gAaaataTcacAaAcAATgccaaaAccaTAaTaGTacAgcTtg??aagcctGTAa?aATt
サブタイプB	tggtgaa-g-atga
サブタイプC	c-gtaatg-atga
サブタイプ D	c
サブタイプE	CGaC
サブタイプF	ctg-tA?AATg-Atca
サブタイプG	c?ggtgAAta?aga
サブタイプ H	cgagtAAta?g
サブタイプA	aatTGT
サブタイプB	
サブタイプ C	gtg
サブタイプ D	1900 also man spen pero pero
サブタイプ E	
サブタイプF	pure dies dans dans dans uits
サブタイプ G	-33
サブタイプ H	

#### F i g. 2

```
サブタイプA
       TGTaatqTcAgtaga?cagaaTGGaAtaaaacttTacaa?aggtagcta?acAatTAaga
サブタイプB
       ----ca-t----g--a-----c---a--c--a--t----A------
サブタイプC
       ----cA-T---a-ga?a-----?----a---a---ag--a-a----gc-
サブタイプD
       ----a-T---a-ga?a-----g--
サブタイプE
       ---G-qA-T-A-g--A--a----g--g----a--c---a--ga-a----a-
サブタイプF
       ----c--t---g--a--C-----?--?--?--g--a----a?ggc-a-g----ag
       -----ga-t--?a??gc-?--C---a-
サブタイプG
サブタイプH
       aaa.....tacTtt????????aacaaaaca...??????ataatcTTtgctaac...
サブタイプA
サブタイプB
       g--??????c-a---...g-g-----t-----...----g----aa-c-a???
サブタイプC
       g--....c----cct-----T-----.......---aa----acca...
サブタイプD
       g-c?....cTtc--.....-------.....aca----t---aaacCa...
サブタイプ E
       g-g.....C-----caaCCA???
サブタイプF
       tct.....c-t--c--...--tgc----.....--aa---aactcA...
サブタイプG
       g--....at-----aaCtCA...
サブタイプ H
       ---...?----aaacca???
サブタイプA
       ?cctcaGGaGGGGAt?TaGAAaTtacAAcacAtAgttTTAaTTGTggAgGagaatttTTc
       t----gt--tg--c----g------
サブタイプB
サブタイプC
       t------
サブタイプ D
       t------g-----g-----
サブタイプE
       c-----A---g-----
サブタイプF
       t----tg----tg-----a----a-----
サブタイプG
       t-tg-----a----a-----
サブタイプ H
       サブタイプA
       TATTGC
サブタイプB
       --c--t
サブタイプC
       ____
サブタイプD
       --C---
サブタイプE
       ____
サブタイプF
       --C---
サブタイプG
       ----t
サブタイプH
```

V4	3 12A 12B 12E	ACATG ACATG	AGAAG CAAAG	TCTGG TCCTC	CCCTC
C3	110A 11BE	CACAGTACAATGCAC	AAATGGCAGTCTAGCACTCCTAGCACTCCTGAGGGGTTAGCACTCTGAGGGGTTAGCACTCTCTCT	CTGTGCATTACAATT GCAATAGAAAATTC	ACAGTAGAAAAATTCCCCTC GCAATAGAAAAATTCCCCTC
		Primers 9AE: 9B:	10: 110A:	118B: 12A:	12B: 12E:
<b>V3</b>					
		for 2nd PCR	10/11QA	10/11BB 10/11QE	
C2		ners used 1st PCR	9AE/12A	9AE/12E	
		Prin Subtype			
	٨3	V3 C3	C2  C3  T1QA 11BB  11QA 11BB  11QE  Timers used for  1st PCR 2nd PCR  9AE: CACAGTACAATGCACAC 9B: CACAGTACAATGTACAC	C2  W3  C3  T1QA 11BB  11QA 11BB  11QA 11BB  11QA 11BB  11QE  11QA 11BB  11QA 11BB	C2   V3   C3

Fig. 4



11XC 11QA1 12M 11VB

ප

the env gene

100 1

9ME

CZ

1st PCR

Subtype

Primers used for

10U/11QA1 10U/11VB 10U/11XC 2nd PCR 9M/12M 9M/12M 9M/12M

8

10U/11WE 10U/11M 9M/12M 9M/12M

AATTTCTGGGTCCCCTCCTG 118 11LC:

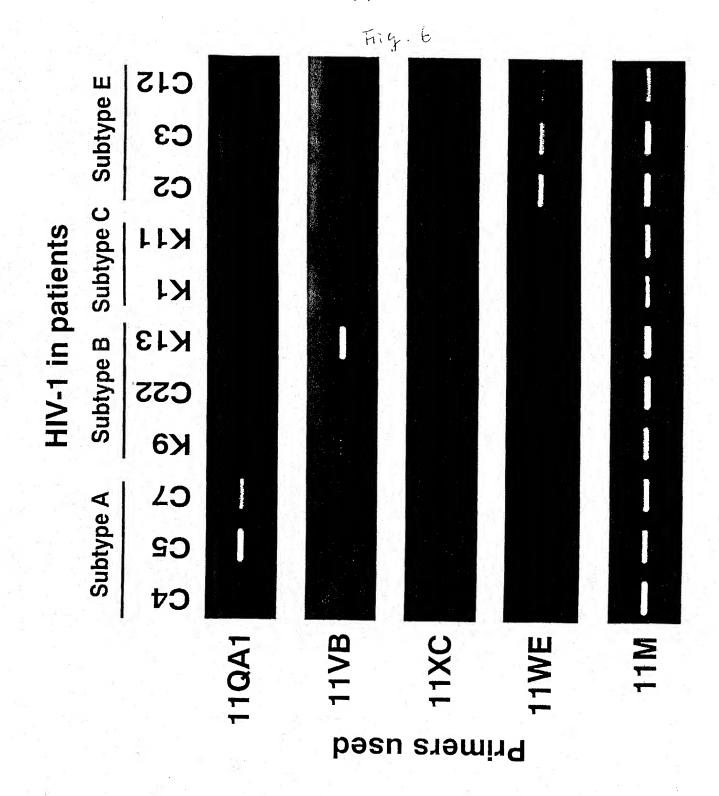
GCAATAGAAAATTCTCCTC

Primers

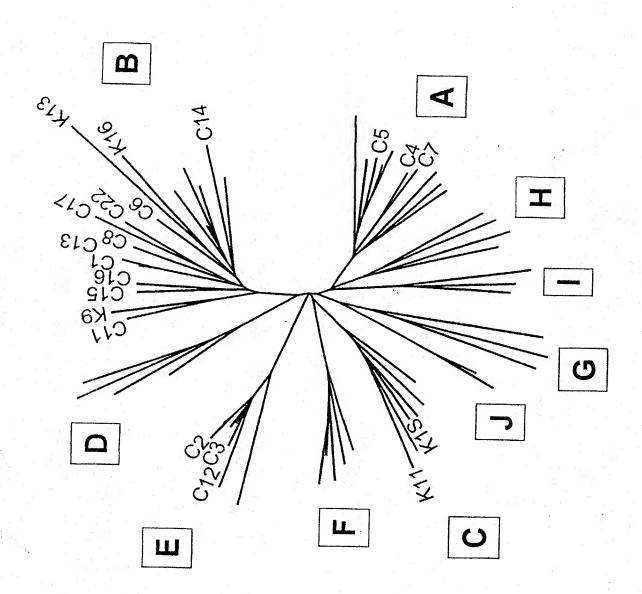
CACAATTAAAACTGTGCATTAC CACAGTACAATGTACACATG CACAGTACAATGCACACATG CTGTTAAATGGCAGTCTAGC CTCCTGAGGAGTTAGCAAAG 10A1: 1VB: <u>:</u>

CTCTACAATTAAAATGATGCATTG TTGTTTTATTAGGGAAGTGTTC AATTTCTAGATCCCCTCCTG 1LAE: 11XC: 1WE

AATTTCTAGGTCCCCTCCTG ACAGTAGAAAATTCCCCTC



7/10 Fig. 7



8 / 1 0

F	i	g.	8

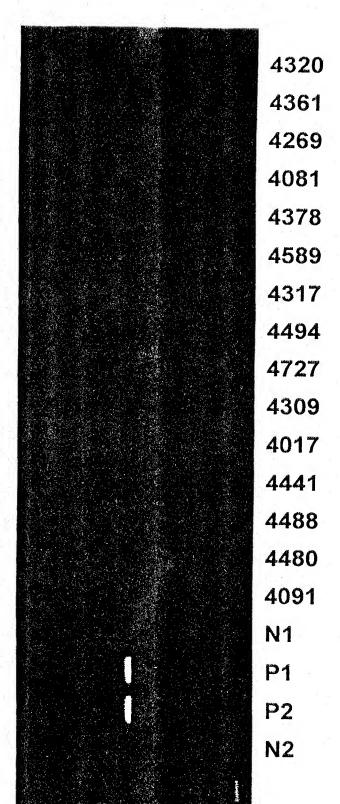
Patient	Subtype	Date	Am	ino a	icid a	Amino acid at positions relevant to PRI resistance	ition	s rel	evan	t to F	RI re	sista	nce
			9	20	30	36	46	48	20	63	82	84	06
C3	Ш	8/11/97		×	۵	_	Σ	ပ		لــا	>	_	
		6/17/9	ட	-	Ω	-	Σ	Ŋ			>		<u>ا</u>
C4	4	26/6/9	· -	-	۵	- Makes	Σ	ග	-	Z	>		_
		3/11/98	_	-	Ω		Σ	(J)	_	Z	>	_	_
C5	V	6/23/97		-		_	Σ	Ŋ		۵	>	******	
		1/11/99	_				Σ	(U)		<u>α</u>	>		
C7	V	7/29/97		-		-	Σ	ග	-	Z	>	Patrick	
		9/16/99		_	Ω		Σ	G		Z	>		

9 / 1 0F i g . 9

ual MSM Total	60	17 23	0	7	19
Heterosexual	2	9	2	မ	16
	Subtype A	Subtype B	Subtype C	Subtype E	Total

C. エバジギ・ロリアロンロンロ

Fig. 10



#### SEQUENCE LISTING

- <110> OTSUKA PHARMACEUTICAL CO., LTD. <110> KEIO UNIVERSITY <120> A METHOD FOR HIV-1 SUBTYPING <130> P00-18 <140> <141> <150> JP P11-167736 <151> 1999-06-15 <150> JP P2000-23581 <151> 2000-02-01 <160> 34 <170> PatentIn Ver. 2.1 ⟨210⟩ 1 ⟨211⟩ 20 ⟨212⟩ DNA (213) Artificial Sequence **<220>** (223) Description of Artificial Sequence: synthetic DNA
- ctcctgaggg gttagcaaag

⟨210⟩ 2

⟨400⟩ 1

⟨211⟩ 20

⟨212⟩ DNA

<213> Artificial Sequence

20

<220>				
⟨223⟩ Description	on of Artificial Sequen	nce: synthetic DNA		
<400> 2				
ctgtgcatta caatttct	gg	(i)		20
⟨210⟩ 3				
⟨211⟩ 20				3
〈212〉 DNA				*
<213> Artificial (<220>	Sequence			ģ - ×
⟨223⟩ Descriptio	on of Artificial Sequer	nce: synthetic DNA	*	
⟨400⟩ 3				
ctcctgaggg tggttga	aaag	- 1	*	20
⟨210⟩ 4				
⟨211⟩ 20				
〈212〉 DNA				
〈213〉 Artificial :	Sequence			
⟨220⟩				
(223) Descriptio	n of Artificial Sequen	nce: synthetic DNA		- ×
〈400〉 4				
naatggcagt ctagcag	gaag			20
(210) =				
〈210〉 5 〈211〉 20				
(211) 20				
(212) DNA				
(213) Artificial S	Sequence			
(220)				

<223>	Description of Artificial Sequence: synthetic DNA
<400>	5
gcaata	gaaa aatteteete 20
⟨210⟩	6
(211)	20
⟨212⟩	DNA
⟨213⟩	Artificial Sequence
<b>&lt;220&gt;</b>	
⟨223⟩	Description of Artificial Sequence: synthetic DNA
<400>	
acagta	gaaa aatteecete 20
⟨210⟩	7
⟨211⟩	20
⟨212⟩	DNA
⟨213⟩	Artificial Sequence
⟨220⟩	
⟨223⟩	Description of Artificial Sequence: synthetic DNA
<b>&lt;400&gt;</b>	
gcaatag	gaaa aatteeete 20
<b>&lt;210&gt;</b>	8
⟨211⟩	20
⟨212⟩	DNA
<b>&lt;</b> 213>	Artificial Sequence
⟨220⟩	
⟨223⟩	Description of Artificial Sequence: synthetic DNA

<b>&lt;400</b> >	> 8		
cacag	tacaa tgcacacatg		20
<210>	> 9		
<b>&lt;211&gt;</b>	<b>≥</b> 20		
<212>	DNA	No.	
<b>&lt;213&gt;</b>	Artificial Sequence		
<b>&lt;220&gt;</b>		<i>k</i> ,	
⟨223⟩	Description of Artificial Sequence: synthetic DNA		
<400>			
cacagt	acaa tgtacacatg		20
<b>&lt;210&gt;</b>	10		
<b>〈211〉</b>	20		
<b>〈212〉</b>	DNA		
⟨213⟩	Artificial Sequence		
⟨220⟩			
⟨223⟩	Description of Artificial Sequence: synthetic DNA		
<400>			
aaatgg	tage ctageagaag		20
	. registrative .		
⟨210⟩	11		
<211>	20		
<b>&lt;212&gt;</b>	DNA		
⟨213⟩	Artificial Sequence		
<220>			
<223>	Description of Artificial Sequence: synthetic DNA		
<400>			

gaatggcagt ttagcagaag		20
⟨210⟩ 12		
⟨211⟩ 20		
⟨212⟩ DNA		
〈213〉 Artificial Sequence		
⟨220⟩		
<223> Description of Artificial Sequ	ence: synthetic DNA	
⟨400⟩ 12		
gtcaaatggc agtttagcag		20
⟨210⟩ 13		
⟨211⟩ 22		
⟨212⟩ DNA		
(213) Artificial Sequence		
⟨220⟩		
<223> Description of Artificial Sequ	ence: synthetic DNA	
⟨400⟩ 13		
ctcctgagga tggtgcaaat tt		22
⟨210⟩ 14		
⟨211⟩ 22		
⟨212⟩ DNA		
<213> Artificial Sequence		
⟨220⟩		
<223> Description of Artificial Sequ	ence: cunthatic DNA	
<223 Description of Artificial Sequil <400> 14	once, synthetic DNA	
		-0
ctcctgagga tggtttaaaa at	,	22

<b>&lt;210&gt;</b>	15		
<211>	> 22		
<212>	DNA		
<b>&lt;213&gt;</b>	Artificial Sequence		
<b>&lt;220&gt;</b>	×		
<b>&lt;223&gt;</b>	Description of Artificial Sequence: syr	athetic DNA	
<400>		*,,	
ctcctga	agga tgagttaaat tt		22
<b>&lt;210&gt;</b>	16		
<b>〈211〉</b>	20		
<b>&lt;212&gt;</b>	DNA		
<b>&lt;213&gt;</b>	Artificial Sequence		
<220>			
<b>&lt;223&gt;</b>	Description of Artificial Sequence: syn	thetic DNA	
<400>			
tcctgca	igat gagttaaagg		20
(210)	17		
(211)	20		
(212)	DNA		
(213)	Artificial Sequence		
(220)			
(223)	Description of Artificial Sequence: syn	thetic DNA	
(400)	17		
cctgag	gat ggtttaaagg		20

<210> 18	
⟨211⟩ 20	
<212> DNA	
<213> **Artificial Sequence	
⟨220⟩	
<223> Description of Artificial Sequence: synthetic DNA	
⟨400⟩ 18	
aatttctggg tcccctcctg	. 20
⟨210⟩ 19	
⟨211⟩ 20	
⟨212⟩ DNA	
⟨213⟩ Artificial Sequence	
⟨220⟩	
<223> Description of Artificial Sequence: synthetic DNA	
<400> 19	
aatttetaga teteeteetg	20
	· · · · · ·
⟨210⟩ 20	
⟨211⟩ 20	
⟨212⟩ DNA	
<213> Artificial Sequence	
⟨220⟩	
(223) Description of Artificial Sequence: synthetic DNA	
<400> 20	
ctgttaaatg gcagtctagc	20
<210> 21	

⟨211⟩ 22	
<212> DNA	
⟨213⟩ Artificial Sequence	9 .
⟨220⟩	
(223) Description of Artificial Sequence: synthetic DNA	
<400> 21	
ctcaactact gttaaatggt ag	22
	**************************************
⟨210⟩ 22	
⟨211⟩ 20	
<212> DNA	
(213) Artificial Sequence	
⟨220⟩	
(223) Description of Artificial Sequence: synthetic DNA	
<400> 22	
ctgttaaatg gcagcctagc	20
⟨210⟩ 23	
⟨211⟩ 20	
<212> DNA	
⟨213⟩ Artificial Sequence	
⟨220⟩	
(223) Description of Artificial Sequence: synthetic DNA	
⟨400⟩ 23	
ctgttaaatg gcagtttagc	20
	20
⟨210⟩ 24	
⟨211⟩ 20	

<212> DNA <213> Artificial Sequence ⟨220⟩ <223> Description of Artificial Sequence: synthetic DNA <400> 24 ctgttaaatg gtagtctagc 20 ⟨210⟩ 25 ⟨211⟩ 20 ⟨212⟩ DNA <213> Artificial Sequence <220> <223> Description of Artificial Sequence: synthetic DNA ⟨400⟩ 25 aatttctaga tcccctcctg 20 <210> 26 ⟨211⟩ 20 ⟨212⟩ DNA <213> Artificial Sequence (220) <223> Description of Artificial Sequence: synthetic DNA ⟨400⟩ 26 aatttctagg tccctcctg 20 ⟨210⟩ 27 ⟨211⟩ 20 <212> DNA

<213> Artificial Sequence			
⟨220⟩			
⟨223⟩ Description of Artificial Sequen	ace: synthetic DNA		
<400≻ 27	* * *		
ctcctgagga gttagcaaag			20
⟨210⟩ 28		· 	
⟨211⟩ 22		* .	
⟨212⟩ DNA			
⟨213⟩ Artificial Sequence			
⟨220⟩			
⟨223⟩ Description of Artificial Sequen	ce: synthetic DNA		
⟨400⟩ 28			
cacaattaaa actgtgcatt ac			22
			*
⟨210⟩ 29			
⟨211⟩ 22			
⟨212⟩ DNA			
<213 Artificial Sequence			
<220> march			
<223 Description of Artificial Sequence	ce: synthetic DNA		
⟨400⟩ 29	-		
ttgttttatt agggaagtgt tc	• 4		22
⟨210⟩ 30			
⟨211⟩ 24			
<212> DNA			
<213> Artificial Sequence			
A			

<b>&lt;220&gt;</b>		
⟨223⟩	Description of Artificial Sequence: synthetic DNA	
<b>&lt;400&gt;</b>		
ctctaca	natt aaaatgatgc attg	24
<b>&lt;210&gt;</b>	31	
<b>&lt;211&gt;</b>	20	
<212>	DNA	
<b>&lt;213&gt;</b>	Artificial Sequence	,
<b>&lt;220&gt;</b>		
<223>	Description of Artificial Sequence: synthetic DNA	
<400>	·	
ttctcctc	cta caattaaagc	20
	- DOSERATO	
<b>&lt;210&gt;</b>	32	
<b>〈211〉</b>	22	
<b>&lt;212&gt;</b>	DNA	
⟨213⟩	Artificial Sequence	
<b>&lt;220&gt;</b>		
<b>&lt;223&gt;</b>	Description of Artificial Sequence: synthetic DNA	
<b>&lt;400&gt;</b>	32	
ttattgttt	t attagggaag tg	22
<b>&lt;210&gt;</b>	33	
<211>	22	
<b>&lt;212&gt;</b>	DNA	
<b>&lt;213&gt;</b>	Artificial Sequence	
⟨220⟩		

\( \lambda 223 \rangle \) Description of Artificial Sequence: synthetic DNA \( \lambda 400 \rangle 33 \)
 tgcattgtaa tttctagatc tc

 \( \lambda 210 \rangle 34 \)
 \( \lambda 211 \rangle 20 \)
 \( \lambda 212 \rangle DNA \)
 \( \lambda 213 \rangle Artificial Sequence \)
 \( \lambda 220 \rangle \)
 \( \lambda 223 \rangle Description of Artificial Sequence: synthetic DNA \)
 \( \lambda 400 \rangle 34 \)
 tgatgcattg taatttctag

20

## INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP00/03896

			-	
A. CLASS	SIFICATION OF SUBJECT MATTER .Cl <sup>7</sup> C12N15/48, C12Q1/68, C12Q1	1/70, G01N33/569, G01N33,	/50	
According t	According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC			
B. FIELD	S SEARCHED			
Minimum d Int	ocumentation searched (classification system followed . Cl <sup>2</sup> Cl2N15/48, Cl2Q1/68, Cl2Q1	by classification symbols) 1/70, G01N33/569, G01N33,	/50	
Documentat	tion searched other than minimum documentation to the	e extent that such documents are included	in the fields searched	
, .				
Electronic d	ata base consulted during the international search (nam	ne of data base and, where practicable, sea	rch terms used)	
Gent	oank/EMBL/DDBJ/GeneSeq, LINE(STN), WPI(DIALOG), BIOSIS(D	13100)		
	HWB (SIM), WPI (DIADOG), BIOSIS(D	TALOGY		
c. docu	MENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT			
Category*	Citation of document, with indication, where ap	opropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.	
Y	SATO, H., et al., "Evolu	ution and Biological	1-18	
	Characterization of Human Immun Subtype E gp120 V3 Sequences f	odeficiency Virus Type 1		
	Vertical Virus Transmission in	a Single Family", JOUNAL	*	
1.5	OF VIROLOGY(1999), Vol.73, No.	5, pp.3551-3559	*	
Y	LEMONDIOS, G.K., et al., "Genetic	Analisis of Human Immuno-	1-18	
	deficiency Virus Type 1 Strains		*	
	Identification of New Subtype Designated Subtype I ", JOUNAL OF VIROLOGY (1995), Vol.69, No.10, pp.6122-6130			
Y	DUMONCEAUX, J., et al., "Spontane	ous Mutations in env Gene	1-18	
	of the Human Immunodeficiency V	/irus Type 1 NDK Isolate		
-	Are Associated with a CD4-Independent Entry Phenotype", JOUNAL OF VIROLOGY (1998), Vol.72, No.1, pp.512-519			
<b>.</b> Y.	McDONALD, R. A., et al.,	"Evolution of Human	1-18	
	Immunodeficiency Virus Type 1 en	nv Sequence Variation in		
-	Patients with DiseaseProgressio	on and T-Cell Function",	*	
*	JOUNAL OF VIROLOGY (1997), Vol.	.71, No.3, pp.1871-1879		
Further	r documents are listed in the continuation of Box C.	See patent family annex.		
* Special categories of cited documents:  "T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to				
considered to be of particular relevance  "E" earlier document but published on or after the international filing "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be				
date considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone				
cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)  "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is				
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other combined with one or more other such documents, such				
"P" document published prior to the international filing date but later "&" document member of the same patent family than the priority date claimed				
	actual completion of the international search	Date of mailing of the international sear		
29 5	September, 2000 (29.09.00)	10 October, 2000 (10	).10.00)	
Name and m	nailing address of the ISA/	Authorized officer		
Japanese Patent Office				
Facsimile N	ο.	Telephone No.		

## INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP00/03896

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT				
Category* Y		where appropriate, of the relevant passages ction of HIV-1 distribution		
1	different blood fractions	by nucleic acid amplificat roviruses (1993), Vol.9, No	ion	
,			*	
			a a	
			, .	
			- A	
	•		* -	
			*	
			,***	
-				
			Constitute o	
			* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
			*	
- 8-			×	
	* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *		*	
-30-			,	
	•			
			*	

			_
A. 発明の	属する分野の分類(国際特許分類(IPC))		
Int.Cl' (	C12N15/48, C12Q1/68, C12Q1/70, G01N33/569,	G01N33/50	
B. 調査を	<b>マッナ・八町</b>		
	行った分野 最小限資料(国際特許分類(1PC))		
Int.Cl <sup>7</sup> (	C12N15/48, C12Q1/68, C12Q1/70, G01N33/569,	G01N33/50	
最小限資料以外	<b>外の資料で調査を行った分野に含まれるもの</b>		*
!			*
= .			
		***************************************	
Genbank/EMB	用した電子データベース(データベースの名称、 L/DDBJ/GeneSeq,	調査に使用した用語)	0
MEDLINE (STN	), WPI(DIALOG), BIOSIS(DIALOG)	•	, 3
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	ると認められる文献		Mark the second
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連する	ときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	SATO, H., et al. "Evolution and Bi	iological Characterization	1-18
	of Human Immunodeficiency Virus 7	Type 1 Subtype E gp120	7
*	V3 Sequences following Horizontal	and Vertical Virus	*
-	Transmission in a Single Family",	JOUNAL OF VIROLOGY, (1999),	
	第73巻, 第5号, p. 3551-3559		
Y	LEMONDIOS C. K. at al "Camati	1:	
1	LEMONDIOS, G.K., et al. "Genetic A deficiency Virus Type 1 Strains f	Analisis of Human immuno-	1-18
	Identification of New Subtype Des	rom ratient in Cyprus.	
	JOUNAL OF VIROLOGY, (1995), 第69巻,	第10号 p 6122-6130	
	, (1000), A100 E,	3310 73 , p. 0122 0130	
▼ C欄の続きにも文献が列挙されている。 □ パテントファミリーに関する別紙を			別紙を参照。
* 引用文献の	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	の日の後に公表された文献	
「A」特に関連 もの	<b>車のある文献ではなく、一般的技術水準を示す</b>		
-	<b>頁日前の出願または特許であるが、国際出願日</b>	出願と矛盾するものではなく、 の理解のために引用するもの	発明の原理义は理論
以後に公表されたもの 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明			
「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 の新規性又は進歩性がないと考えられるもの 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以			
文献(理由を付す) 上の文献との、当業者にとって自明である組合せに			
「〇」口頭にし	る開示、使用、展示等に言及する文献	よって進歩性がないと考えられ	
「P」国際出界	百日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願 	「&」同一パテントファミリー文献	
国際調査を完了	てした日	国際調査報告の発送日 4 △ 1	0.00
	29.09.00	10.	0.00
	)名称及びあて先	特許庁審査官(権限のある職員)	- 4B 9358
	国特許庁(ISA/JP)		<b>题</b>
	郡便番号100-8915 B千代田区霞が関三丁目4番3号	・ 電話番号 03-3581-1101	内線 3448
21521511		ныныте оо-ооот-110]	内線 3448

国際調査報告

国際出願番号 PCT/JP00/03896

引用文献の関連する	C (続き).	関連すると認められる文献	4
Y DUMONCEAUX, J., et al. "Spontaneous Mutations in env Gene of the Human Immunodeficiency Virus Type 1 NDK Isolate Are Associated with a CD4-Independent Entry Phenotype", JOUNAL OF VIROLOGY, (1998), 第72巻, 第1号, p. 512-519  Y McDONALD, R.A., et al. "Evolution of Human Immunodeficiency Virus Type 1 env Sequence Variation in Patients with Disease Progression and T-Cell Function", JOUNAL OF VIROLOGY, (1997), 第71巻, 第3号, p. 1871-1879  Y BRUISTEN, S., et al. "Detection of HIV-1 distribution in diff erent blood fractions by nucleic acid amplification assays",	引用文献の		関連する 請求の範囲の番号
Virus Type 1 env Sequence Variation in Patients with Disease Progression and T-Cell Function", JOUNAL OF VIROLOGY, (1997), 第71卷, 第3号, p. 1871-1879  Y BRUISTEN, S., et al. "Detection of HIV-1 distribution in diff erent blood fractions by nucleic acid amplification assays",		DUMONCEAUX, J., et al. "Spontaneous Mutations in env Gene of the Human Immunodeficiency Virus Type 1 NDK Isolate Are Associated with a CD4-Independent Entry Phenotype",	1
erent blood fractions by nucleic acid amplification assays",	Y	Virus Type 1 env Sequence Variation in Patients with Disease Progression and T-Cell Function", JOUNAL OF VIROLOGY, (1997),	1-18
	Y	erent blood fractions by nucleic acid amplification assays",	1-18
			+
			÷
			5 (
			*
		* * *	
			≒रश्चक्यः
			0
			· ·
			*